

福島県環境基本計画(第4次)の指標の達成状況等について

令和2年3月24日

生活環境総務課

達成状況	
◎	最新の実績値が、令和2年度目標値に達しているもの。(達成率:100%以上)
○	最新の実績値が、令和2年度目標値に達していないが、概ね順調に推移しているもの。(達成率:75%以上~100%未満)
△	最新の実績値が、令和2年度目標値に達しておらず、今後も達成がやや難しいもの。(達成率:60%以上~75%未満)
×	最新の実績値が、令和2年度目標値に達しておらず、今後も達成が困難な可能性が高いもの。(達成率:60%未満)
—	比較する数値が無いもの。

施策体系

I 環境回復の推進

1 放射性物質による環境汚染からの回復

(1) 環境放射線モニタリングの実施

(2) 除染等の推進

(3) 汚染廃棄物及び災害廃棄物の適正な処理の推進

2 原子力発電所及び周辺地域の安全確保

II 美しい自然環境に包まれた持続可能な社会の実現

1 低炭素社会への転換

(1) 温室効果ガス排出の抑制

(2) 再生可能エネルギーの普及拡大とエネルギーの有効利用

(3) 再生可能エネルギー関連産業の活性化

(4) 福島新エネ社会構想の実現

2 循環型社会の形成

(1) 環境に負荷をかけないライフスタイルへの転換

(2) 廃棄物等の発生抑制、再使用、再生利用

(3) 廃棄物の適正な処理

(4) 環境と調和した事業活動の展開

3 自然共生社会の形成

(1) 自然環境の保全と自然とのふれあい

(2) 有害鳥獣対策

(3) 生物多様性の保全と恵みの持続可能な利用

(4) 地震・津波により影響を受けた自然環境及び生物多様性の回復に向けた適切な保全

(5) 尾瀬地区及び裏磐梯地区の自然環境保全

(6) 猪苗代湖等の水環境保全

4 良好な生活環境の確保

(1) 大気、水、土壌等の環境保全対策

(2) 化学物質の適正管理等

(3) 公害紛争等の対応

(4) 環境と調和した事業活動の展開

5 環境ネットワーク社会の構築と環境に配慮したゆとりある生活空間の形成

(1) 環境教育の推進、参加と連携・協働に基づく環境ネットワーク社会の構築

(2) 環境に配慮したゆとりある生活空間の形成

(3) 情報の収集・提供と発信

指標数	◎	○	△	×	—
8	3	1	0	0	4
7	3	1	0	0	3
2					2
4	2	1			1
1	1				
1					1
60	20	14	6	16	4
12	4	2	1	4	1
8	3	1		3	1
2	1	1			
2			1	1	
0					
15	6	3	1	3	2
1	1				
6	2	2	1		1
4	3				1
4		1		3	
13	4	4	1	4	0
5	1	2		2	
1	1				
2		1		1	
0					
2	2				
3		1	1	1	
11	5	2	3	1	0
7	3	2	2		
3	2		1		
1				1	
0					
9	1	3	0	4	1
6	1	2		2	1
2		1		1	
1				1	
合計					
68	23	15	6	16	8
割合%	38.3	25.0	10.0	26.7	
再掲除く	66	23	14	6	15
割合%	39.7	24.1	10.3	25.9	

環境指標の達成状況について

生活環境総務課

1 評価の仕方

評価については、令和 2 年度目標値と最新の実績値との比較における達成率により、「◎」、「○」、「△」、「×」、「－」（評価なし）のいずれかで行うのを原則とする。

◎	・ 最新の実績値が、令和 2 年度目標値に達しているもの。 (達成率：100%以上)
○	・ 最新の実績値が、令和 2 年度目標値に達していないが、概ね順調に推移しているもの。 (達成率：75%以上～100%未満)
△	・ 最新の実績値が、令和 2 年度目標値に達しておらず、今後達成がやや難しいもの。 (達成率：60%以上～75%未満)
×	・ 最新の実績値が、令和 2 年度目標値に達しておらず、今後達成が困難な可能性が高いもの。 (達成率：60%未満)
－	・ 比較する数値が無いもの。

2 達成率の計算方法

① 現況値を上げていくこと又は維持することが目標の場合（目標区分：↑又は→）

現在の最新の実績値を対象に、目標値に対する現状値の進捗率を算出する。

$$\text{進捗率 (\%)} = (\text{現状値}) \div (\text{目標値}) \times 100$$

② 現況値を下げていくことが目標の場合（目標区分：↓）

現在の最新の実績値を対象に、目標値に対する現状値の進捗率を算出する。

$$\text{進捗率 (\%)} = (\text{目標値}) \div (\text{現状値}) \times 100$$

③ モニタリング指標の場合

一律、評価なし。

福島県環境基本計画（第4次）の指標の達成状況等について

令和2年3月24日

生活環境総務課

I 環境回復の推進

1 放射性物質による環境汚染からの回復

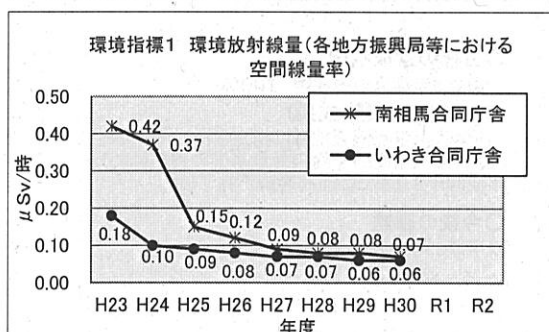
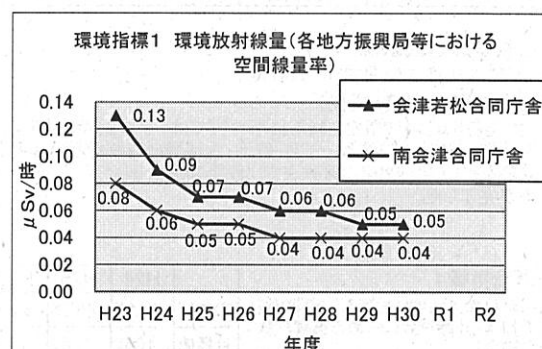
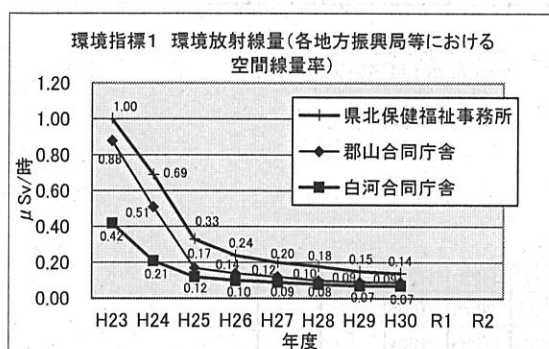
(1) 環境放射線モニタリングの実施

施策の展開方向

○ きめ細かな監視・測定

環境指標

環境指標1	測定箇所		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
環境放射線量(各地方振興局等における空間線量率)	県北保健福祉事務所	実績値	1.00	0.69	0.33	0.24	0.20	0.18	0.15	0.14			—	↘
	郡山合同庁舎	実績値	0.88	0.51	0.17	0.14	0.12	0.10	0.09	0.09				
	白河合同庁舎	実績値	0.42	0.21	0.12	0.10	0.09	0.08	0.07	0.07				
	会津若松合同庁舎	実績値	0.13	0.09	0.07	0.07	0.06	0.06	0.05	0.05				
	南会津合同庁舎	実績値	0.08	0.06	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04				
	南相馬合同庁舎	実績値	0.42	0.37	0.15	0.12	0.09	0.08	0.08	0.07				
	いわき合同庁舎	実績値	0.18	0.10	0.09	0.08	0.07	0.07	0.06	0.06				



○目標の達成状況

モニタリング指標のため、目標設定なし

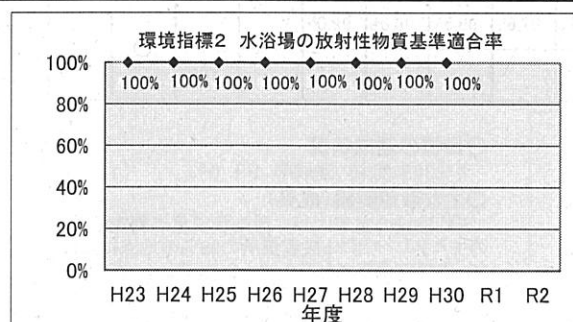
○主な取組実績(成果)

平日15時時点のモニタリングポストの測定結果を県のホームページで公表している。

○今後の課題

正確な情報発信による県民の安全・安心の確保等のため、測定結果の迅速かつ分かりやすい情報の提供が必要である。

環境指標2		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
水浴場の放射性物質基準適合率	実績値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%			—	→



○目標の達成状況

モニタリング指標のため、目標設定なし

○主な取組実績(成果)

遊泳期間前及び遊泳期間中に水浴場の放射性物質の測定を実施し、県のホームページで公表している。

○今後の課題

正確な情報発信による県民の安全・安心の確保等のため、測定結果の迅速かつ分かりやすい情報の提供が必要である。

(2) 除染等の推進

施策の展開方向

- 総力を結集した除染等の推進
- 除染等に伴い発生した除去土壌等の管理
- 中間貯蔵施設の整備及び除去土壌等の輸送の安全確保

環境指標

環境指標3		H24	H25	H26	H27	H28	達成状況	目標区分
除染特別地域における住宅等除染の進捗率(計画棟数に占める実績棟数の割合)	実績値	田村市:99% 楢葉町:38% 川内村:100% 飯館村:1%	田村市:100% 楢葉町:100% 川内村:100% 大熊町:100% 飯館村:9% 川俣町:17% 葛尾村:59% 南相馬市:一 富岡町:0.1% 浪江町:0.6%	田村市:100% 楢葉町:100% 川内村:100% 大熊町:100% 飯館村:96% 川俣町:100% 葛尾村:100% 南相馬市:8% 富岡町:24% 浪江町:11%	田村市:100% 楢葉町:100% 川内村:100% 大熊町:100% 飯館村:100% 川俣町:100% 葛尾村:100% 南相馬市:88% 富岡町:100% 浪江町:48% 双葉町:100%	田村市:100% 楢葉町:100% 川内村:100% 大熊町:100% 飯館村:100% 川俣町:100% 葛尾村:100% 南相馬市:100% 富岡町:100% 浪江町:100% 双葉町:100%	◎	↗
	目標値	100%	100%	100%	100%	100%		

○目標の達成状況

平成28年度末の進捗率 100%

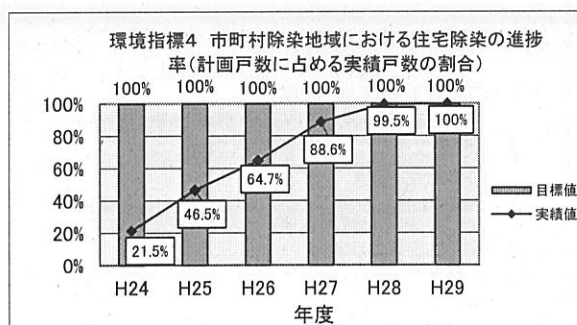
○今後の課題

※平成28年度に完了。

○主な取組実績(成果)

除染特別地域に指定された11市町村では、平成24年度から国が住宅・道路・学校施設・公園・農地・生活圏の森林などの必要な除染を行い、平成29年3月末までに除染実施計画に基づく面的除染が完了した。

環境指標4		H24	H25	H26	H27	H28	H29	達成状況	目標区分
市町村除染地域における住宅除染の進捗率(計画戸数に占める実績戸数の割合)	実績値	21.5%	46.5%	64.7%	88.6%	99.5%	100%	◎	↗
	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%		



○目標の達成状況

平成29年度末の達成率 100%

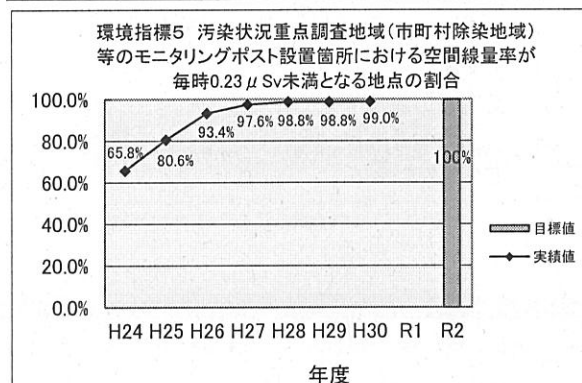
○主な取組実績(成果)

汚染状況重点調査地域に指定された36市町村では、平成23年度から除染対策事業の実施により、平成30年3月までに面的除染が完了した。

○今後の課題

※平成29年度に完了。

環境指標5		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
汚染状況重点調査地域(市町村除染地域)等のモニタリングポスト設置箇所における空間線量率が毎時0.23 μ Sv未満となる地点の割合	実績値	65.8%	80.6%	93.4%	97.6%	98.8%	98.8%	99.0%			○	↗
	目標値									100%		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 99.0%

○主な取組実績(成果)

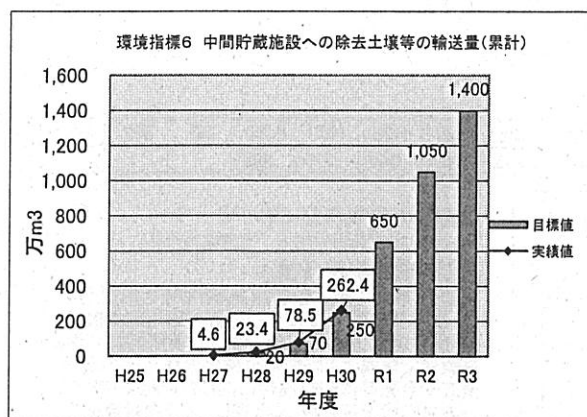
面的除染の完了により、汚染状況重点調査地域のモニタリングポスト設置箇所の99%の地点において、空間線量率が毎時0.23 μ Sv未満となった。

○今後の課題

面的除染は完了しているが、今後も長期目標である「追加被ばく線量年間1ミリシーベルト以下」を堅持し、事後モニタリング等の結果、追加的な除染が必要な場合には適切に対応する必要がある。

環境指標6		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	達成状況	目標区分
中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送量(累計)	実績値			4.6	23.4	78.5	262.4				—	↗
	目標値				20	70	250	650	1,050	1,400		

※目標値を定めているが、取組の主体が国であることから、達成状況は「—」としている。



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 18.7%

○主な取組実績(成果)

県内で発生した除去土壌等については、対象52市町村のうち24市町村(令和2年1月末時点)で輸送が完了した。

○今後の課題

除染等に伴い発生した除去土壌等について、令和3年度までの概ね搬入完了(帰還困難区域を除く)に向けて、輸送が安全・確実に実施されるよう、引き続き、中間貯蔵施設や除去土壌等の輸送における現地確認等を行い、県民の安全・安心の確保に努める必要がある。

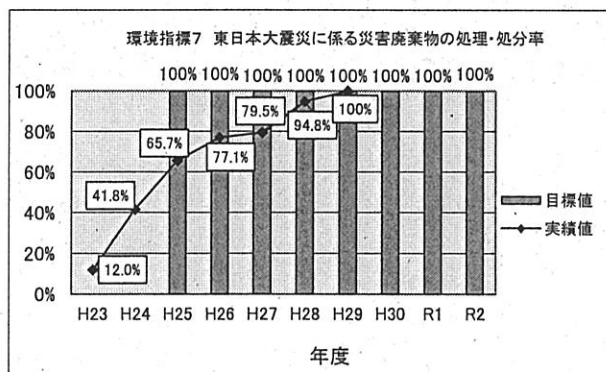
(3) 汚染廃棄物及び災害廃棄物の適正な処理の推進

施策の展開方向

- 汚染廃棄物の適正処理
- 災害廃棄物の適正処理

環境指標

環境指標7		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
東日本大震災に係る災害廃棄物の処理・処分率	実績値	12.0%	41.8%	65.7%	77.1%	79.5%	94.8%	100%				◎	↗
	目標値			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		



○目標の達成状況

平成29年度末の達成率 100%

○主な取組実績(成果)

国が直轄で処理を行う地域及び代行処理を行っている地域以外は平成29年度に処理が完了した。

○今後の課題

※平成29年度に完了。

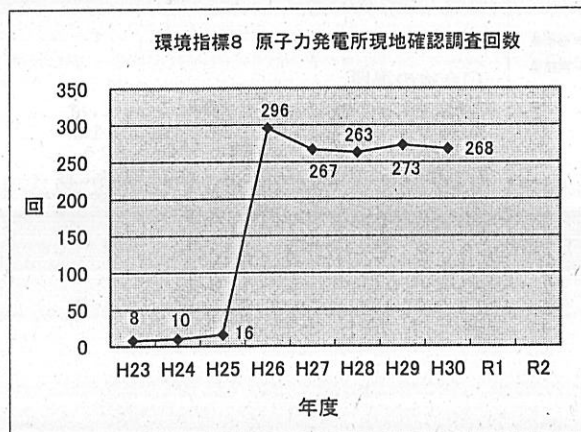
2 原子力発電所及び周辺地域の安全確保

施策の展開方向

- 県内原子力発電所の全基廃炉の要請と安全確保
- 原子力発電所周辺の環境放射線モニタリングの実施
- 県民への迅速かつ分かりやすい情報提供の実施

環境指標

環境指標8		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
原子力発電所現地確認調査回数	実績値	8	10	16	296	267	263	273	268			—	—



○目標の達成状況について

モニタリング指標のため、目標設定なし

○主な取組実績(成果)

国と東京電力から定期的に報告を求めるとともに、県、関係市町村及び様々な分野の専門家で構成する廃炉安全監視協議会や県民、各種団体及び学識経験者で構成する廃炉安全確保県民会議の現地調査や会議等により、廃炉に向けた取組やトラブルへの対応状況等を厳しく監視し、必要な対策を国及び東京電力に対して申し入れを行った。

○今後の課題

- ・福島第一原子力発電所の事故の収束と今後30～40年にわたる廃炉作業が安全に実施されるよう監視を続けていく必要がある。
- ・正式に廃炉が決定した福島第二原子力発電所についても監視体制を整えていく必要がある。

Ⅱ 美しい自然環境に包まれた持続可能な社会の実現

1 低炭素社会への転換

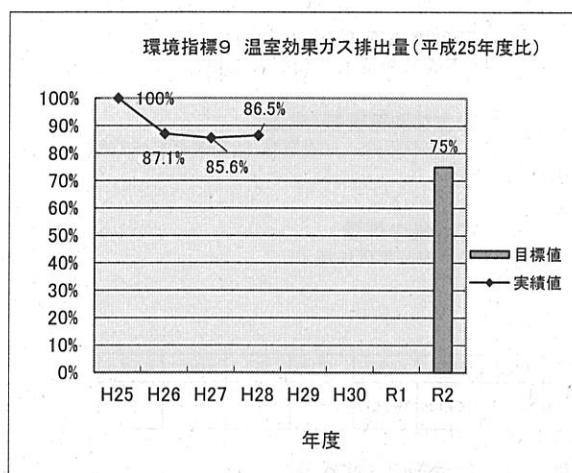
(1) 温室効果ガス排出の抑制

施策の展開方向

- 温室効果ガス削減に向けた県全体としての取組
- 県民総ぐるみの省資源・省エネルギー対策の推進
- 環境負荷の少ないまちづくりの推進
- 森林整備の推進
- その他の温室効果ガス削減に向けた取組

環境指標

環境指標9		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
温室効果ガス排出量(平成25年度比)	実績値	100%	87.1%	85.6%	86.5%					○	↘
	目標値								75%		



○目標の達成状況

平成28年度末の達成率 86.7%

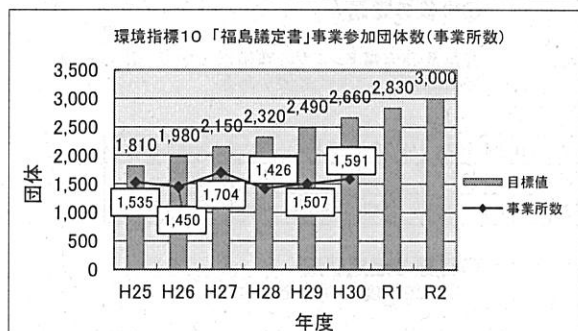
○主な取組実績(成果)

「福島議定書」事業やみんなでエコチャレンジ事業等の実施により事業所・団体や家庭における自主的な省資源・省エネルギー活動を促進したほか、平成30年度より地域ぐるみの省エネルギー計画を策定する市町村や省エネルギー対策に取り組む事業者を支援し、あらゆる主体が一体となった温室効果ガス排出抑制の取組を推進した。

○今後の課題

温室効果ガスの増加は気温上昇と長期にわたる気候変動をもたらし、生態系、食料、健康等、自然環境や県民生活の様々な面に多大な影響を及ぼすことから、県民、事業者、市町村、県などあらゆる主体による温室効果ガス排出抑制の取組を継続していく必要がある。

環境指標10		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
「福島議定書」事業参加団体数	事業所数	1,535	1,450	1,704	1,426	1,507	1,591			×	↗
	目標値	1,810	1,980	2,150	2,320	2,490	2,660	2,830	3,000		
	学校数	495	406	428	464	471	406				
	目標値	640	680	720	760	790	830	860	900		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 事業所 53.0%

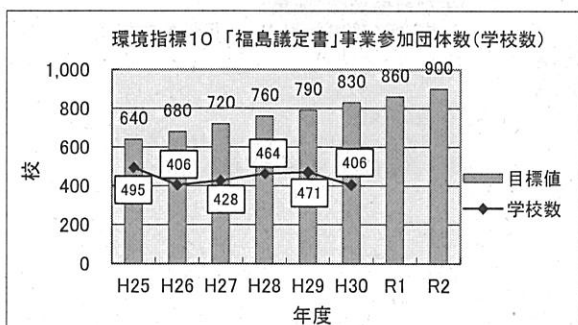
平成30年度末の達成率 学校 45.1%

○主な取組実績(成果)

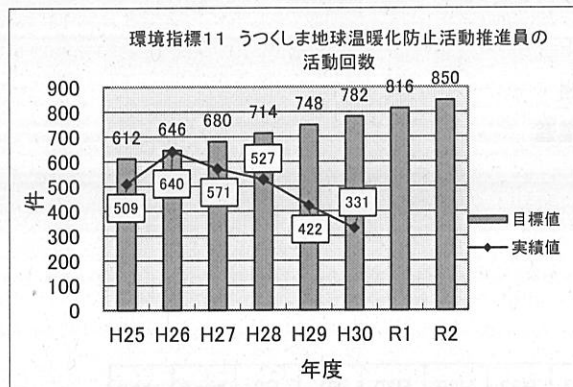
広報資材の配布等PR活動の強化により参加団体の取組意欲の向上を図るとともに、気候変動適応やプラスチックごみ対策を新たな取組項目に加えるなど参加団体の拡大に努めた。

○今後の課題

参加団体数が目標値を下回るなど、地球温暖化対策に関する意識向上が十分に図られていないことから、さらに積極的なPR活動を展開していく必要がある。



環境指標11		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
うつくしま地球温暖化防止活動推進員の活動回数	実績値	509	640	571	527	422	331			×	↗
	目標値	612	646	680	714	748	782	816	850		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 38.9%

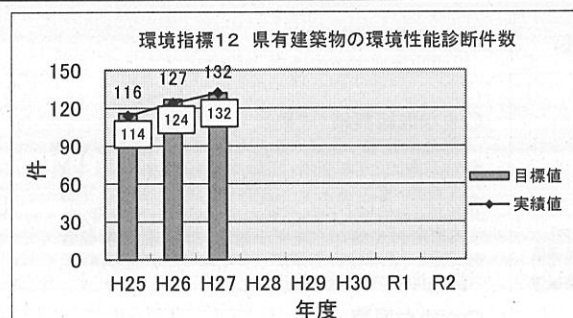
○主な取組実績(成果)

地球温暖化防止活動推進センターと連携し、児童生徒を対象とした環境保全に関する勉強会等を実施するとともに、各種イベントへのブース出展を行うなど、各地域での普及啓発活動に取り組んだ。

○今後の課題

新規委嘱者の伸び悩み、推進員の高齢化等により活動回数が減少していることから、新規委嘱者の掘り起こしや活動の拡大を行い、活動の活性化を図る必要がある。

環境指標12		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
県有建築物の環境性能診断件数	実績値	114	124	132						◎	↗
	目標値	116	127	132							



○目標の達成状況について

平成27年度末の達成率 100%

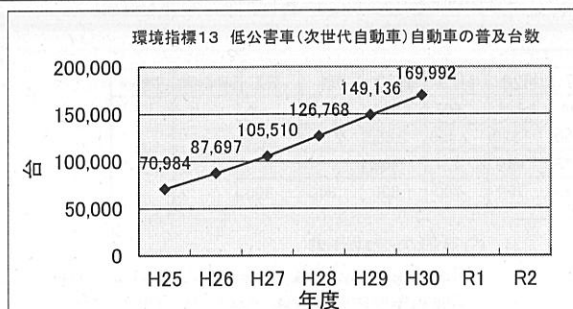
○主な取組実績(成果)

平成27年度に対象施設132施設をすべて完了した。

○今後の課題

※平成27年度に完了。

環境指標13		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
低公害車(次世代自動車)自動車の普及台数	実績値	70,984	87,697	105,510	126,768	149,136	169,992			—	↗



○目標の達成状況

モニタリング指標のため、目標設定なし

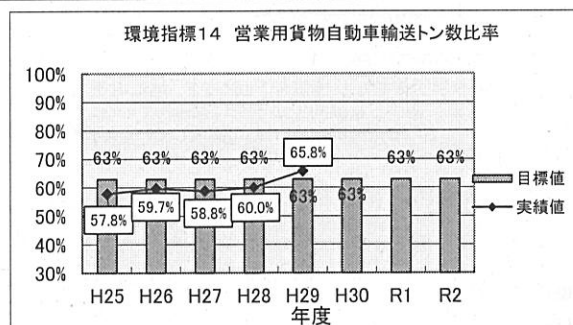
○主な取組実績(成果)

超小型モビリティの体験試乗会や水素自動車の同乗体験などのイベントを開催し、次世代自動車の普及啓発活動に努めた。

○今後の課題

温室効果ガス排出抑制のため、次世代自動車の普及及び充電インフラの整備について、引き続き啓発活動を行っていく必要がある。

環境指標14		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
営業用貨物自動車輸送トン数比率	実績値	57.8%	59.7%	58.8%	60.0%	65.8%				◎	↗
	目標値	63%	63%	63%	63%	63%	63%	63%	63%		



○目標の達成状況

平成29年度末の達成率 104.4%

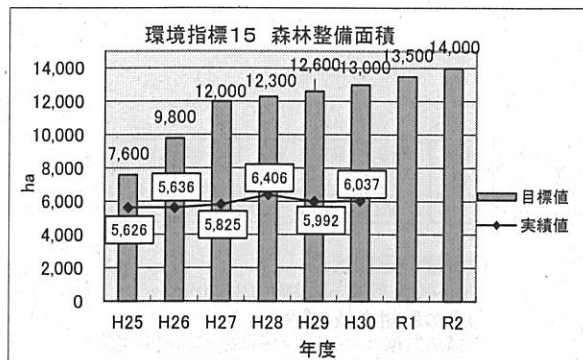
○主な取組実績(成果)

各種施策の取組を通して、目標値を達成した。

○今後の課題

「福島県物流新ビジョン」の検討状況を踏まえ、本指標の扱いについて検討が必要である。

環境指標15		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
森林整備面積	実績値	5,626	5,636	5,825	6,406	5,992	6,037			×	↗
	目標値	7,600	9,800	12,000	12,300	12,600	13,000	13,500	14,000		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 43.1%

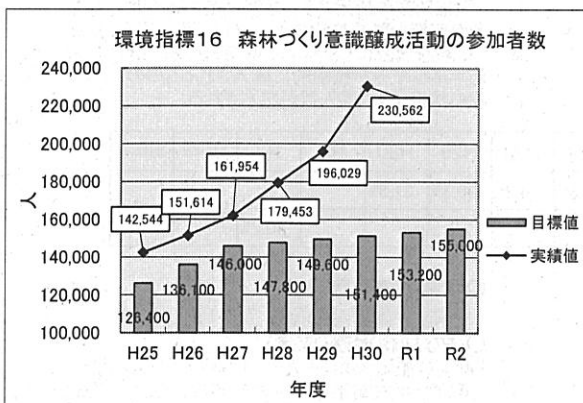
○主な取組実績(成果)

一般造林事業や森林環境基金による森林整備事業により、健全な森林を造成する一連の森林施業に対して支援を行った。(平成25年度～平成30年度 森林整備実績 35,522ha)

○今後の課題

原発事故に伴う放射性物質拡散の影響から森林所有者等による森林整備が進みにくい状況であるため、森林整備とその実施に必要な放射性物質対策を行うなど、引き続き、森林の更新や荒廃のおそれのある森林の整備を図る必要がある。

環境指標16		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
森林づくり意識醸成活動の参加者数	実績値	142,544	151,614	161,954	179,453	196,029	230,562			◎	↗
	目標値	126,400	136,100	146,000	147,800	149,600	151,400	153,200	155,000		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 148.7%

○主な取組実績(成果)

全国植樹祭やふくしま植樹祭等の開催及びPR活動を行った結果、県民の緑化意識が向上し、参加者数の増加につながった。
平成30年度実績:230,562人(平成25年度比161%)

○今後の課題

- ・もりの案内人など森林ボランティア指導者の養成と認定後のフォローアップを行っていく必要がある。
- ・県内で活動する森林づくり団体等との連携を強化する必要がある。
- ・更に幅広い世代が森林づくりに参加できるよう機会の創出に努める必要がある。

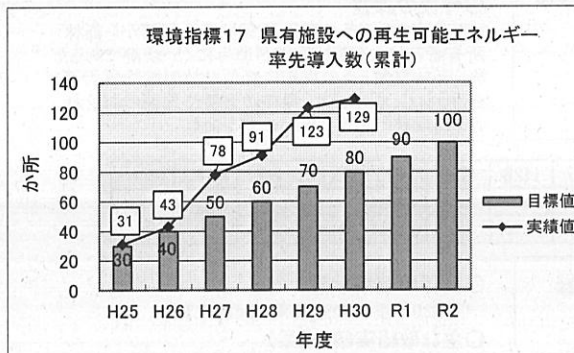
(2)再生可能エネルギーの普及拡大とエネルギーの有効利用

施策の展開方向

- 再生可能エネルギーの普及拡大
- エネルギーの有効利用

環境指標

環境指標17		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
県有施設への再生可能エネルギー率先導入数(累計)	実績値	31	43	78	91	123	129			◎	↗
	目標値	30	40	50	60	70	80	90	100		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 129.0%

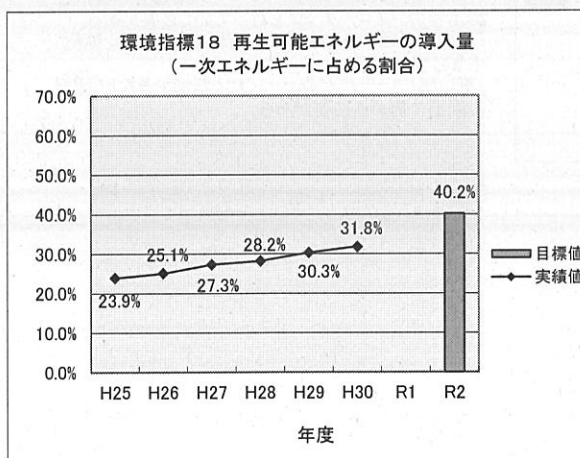
○主な取組実績(成果)

「福島県再エネ・省エネ推進建築物整備指針」に基づき、新設の施設を中心に再生可能エネルギー設備を率先して導入した。

○今後の課題

国補助金の活用により再生可能エネルギーの導入が可能な既設施設については、導入済みであるが、新設施設については、県指針に基づき再生可能エネルギーが積極的に導入されるものの、その施設の状況により導入数が左右される。

環境指標18		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
再生可能エネルギーの導入量(一次エネルギーに占める割合)	実績値	23.9%	25.1%	27.3%	28.2%	30.3%	31.8%			○	↗
	目標値								40.2%		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 79.1%

○主な取組実績(成果)

・再生可能エネルギー先駆けの地アクションプラン(第1期:平成25年度～平成27年度、第2期:平成28年度～平成30年度)に基づく取組の実施等により、平成30年度末の導入量(県内1次エネルギー需要量に対する再生可能エネルギー導入量の割合)は31.8%となった。
・住宅用太陽光発電設備補助(平成25年度～平成30年度 26,354件 128,448kW)をはじめ、県内において地域主導の再エネ導入を積極的に推進した。

○今後の課題

・送電網の容量が不足していることから、阿武隈・沿岸部における送電網の整備及び再生可能エネルギー発電設備への支援を実施するとともに、住宅用太陽光発電設備やスマートコミュニティなど、再生可能エネルギーの地産地消を進めることが必要である。
・再生可能エネルギーの主力電源化及び国民負担軽減のため、固定価格買取制度に頼らない再エネの導入促進が必要である。

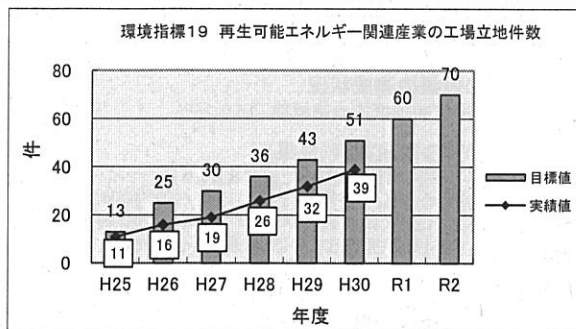
(3)再生可能エネルギー関連産業の活性化

施策の展開方向

- 再生可能エネルギー関連産業の育成・集積
- 再生可能エネルギー分野における技術の開発と普及促進

環境指標

環境指標19		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
再生可能エネルギー関連産業の工場立地件数	実績値	11	16	19	26	32	39			×	↗
	目標値	13	25	30	36	43	51	60	70		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 55.7%

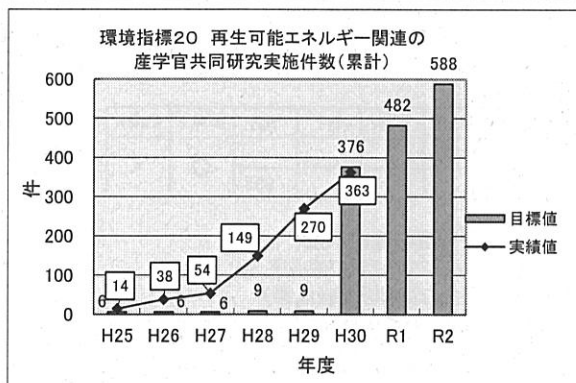
○主な取組実績(成果)

・企業立地補助金や再生可能エネルギー関連補助事業、復興特区による優遇税制などによる支援を行った。
 ・産総研福島再生可能エネルギー研究所と連携した技術開発支援を通じて、県内企業の技術高度化等を推進した。
 ・エネルギー・エージェンシーふくしまと連携を図りながら、再生可能エネルギー関連産業に関する情報の共有・発信を行うとともに、関連企業と県内企業のマッチング、再生可能エネルギー産業フェアを開催するなど、再生可能エネルギー関連産業の育成・集積を推進した。

○今後の課題

・目標達成に向け、関連産業の誘致、雇用の確保に努めるとともに、再生可能エネルギー関連産業の新規参入を促進する必要がある。

環境指標20		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
再生可能エネルギー関連の産学官共同研究実施件数(累計)	実績値	14	38	54	149	270	363			△	↗
	目標値	6	6	6	9	9	376	482	588		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 61.7%

○主な取組実績(成果)

・県内企業が行う実証研究に対する支援を行った。
 ・ハイテクプラザによる県内企業との共同研究を行った。
 ・産総研福島再生可能エネルギー研究所と連携し、県内企業の研究開発を推進した。

○今後の課題

これまで行ってきた支援や共同研究等により、県内における研究開発は着実に進展してきていることから、開発された技術の実用化に向けた支援を行うとともに、製品化までの支援を継続的に実施していくことが必要である。

(4)福島新エネ社会構想の実現

施策の展開方向

- 再生可能エネルギーの導入と活用
- スマートコミュニティ構築の推進
- 水素社会に向けた取組の推進

2 循環型社会の形成

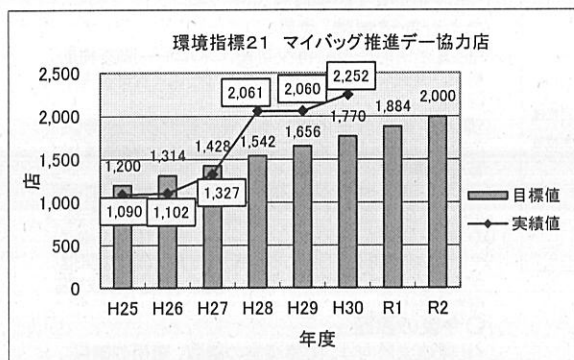
(1) 環境に負荷をかけないライフスタイルへの転換

施策の展開方向

- 地球にやさしいライフスタイルの推進
- 県民運動と連携した環境保全活動の推進

環境指標

環境指標21		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
マイバッグ推進デー協力店	実績値	1,090	1,102	1,327	2,061	2,060	2,252			◎	↗
	目標値	1,200	1,314	1,428	1,542	1,656	1,770	1,884	2,000		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 112.6%

○主な取組実績(成果)

レジ袋の削減に向けて毎月8日、9日をマイバッグ推進デーとして啓発を行った。マイバッグ推進デー協力店として2,254店、ストップ・ザ・レジ袋実施店として461店が登録している(令和2年1月末現在)。

○今後の課題

令和2年7月よりプラスチック製買い物袋の有料化が始まるため、その動きに合わせて、今後も継続したマイバッグの利用促進のための呼びかけが必要である。

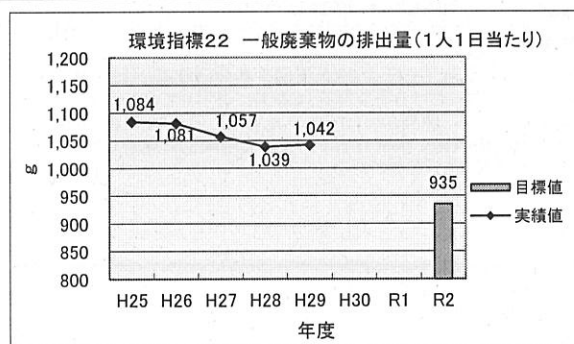
(2) 廃棄物等の発生抑制、再使用、再生利用

施策の展開方向

- あらゆる分野での廃棄物等の発生抑制の推進
- 廃棄物等の発生抑制、再使用、再生利用(3R)の促進
- 食品ロスの削減に向けた取組の推進

環境指標

環境指標22		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
一般廃棄物の排出量(1人1日当たり)	実績値	1,084	1,081	1,057	1,039	1,042				○	↘
	目標値								935		



○目標の達成状況

平成29年度末の達成率 89.7%

○主な取組実績(成果)

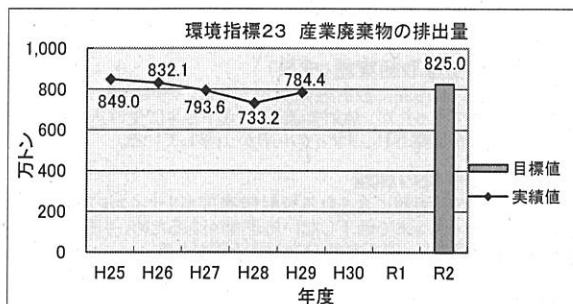
3Rや食品ロス削減に関する家庭向けの取組として、一般家庭や小学生を対象としてリーフレットを配布し実践してもらうことにより、取組を促進した。

食品ロスの削減を図るため、「食べ残しゼロ協力店」の募集・認定を行い、利用者、事業者に対する普及・啓発を行った。

○今後の課題

平成25年度以降は、1,050g程度で推移し、全国平均より100g以上多く、全国順位で毎年ワースト3位以内であることから、排出量の削減が課題である。

環境指標23		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
産業廃棄物の排出量	実績値	849.0	832.1	793.6	733.2	784.4				◎	↘
	目標値								825.0		



○目標の達成状況

平成29年度末の達成率 105.2%

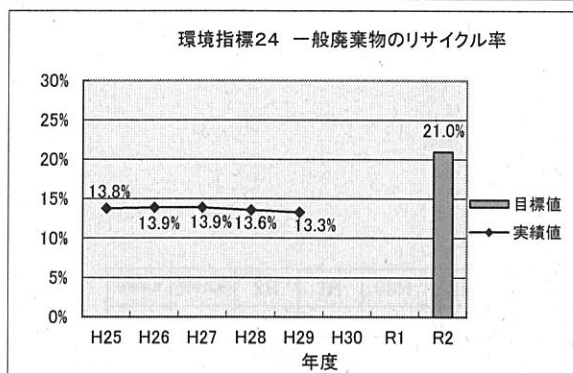
○主な取組実績(成果)

産業廃棄物の排出抑制等を目的とした排出事業者等が行う施設整備に対し、支援を行った。

○今後の課題

循環型社会の実現に向けて、更なる排出抑制等を推進する取組が必要である。

環境指標24		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
一般廃棄物のリサイクル率	実績値	13.8%	13.9%	13.9%	13.6%	13.3%				△	↗
	目標値								21.0%		



○目標の達成状況

平成29年度末の達成率 63.3%

○主な取組実績(成果)

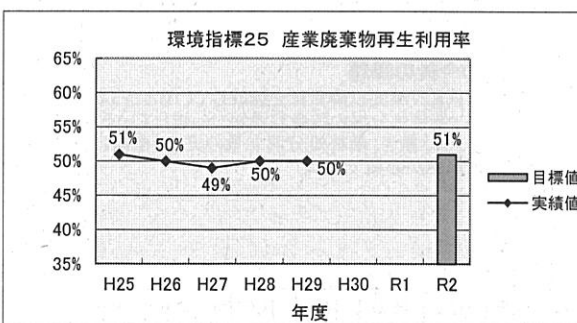
- ・3Rや食品ロス削減に関する家庭向けの取組として、一般家庭や小学生を対象としてリーフレットを配布し実践してもらうことにより、取組を促進した。
- ・平成25年に施行された小型家電リサイクル法において、取組事例の紹介や個別相談会の開催等を行うことにより、市町村による回収を促進した。
- ・令和元年度等3年ごとに「福島県分別収集促進計画」を作成し、分別収集及びリサイクルの推進を図った。

○今後の課題

本県の一般廃棄物のリサイクル率は13%台で推移し、全国平均(約20%)の約2/3と低い値であり、全国順位で毎年ワースト3位以内であることから、回収率の向上が課題である。

また、小型家電を回収している市町村数は、平成30年6月時点で約80%であることから、参加率を上げる必要がある。

環境指標25		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
産業廃棄物再生利用率	実績値	51%	50%	49%	50%	50%				○	↗
	目標値								51%		



○目標の達成状況

平成29年度末の達成率 98.0%

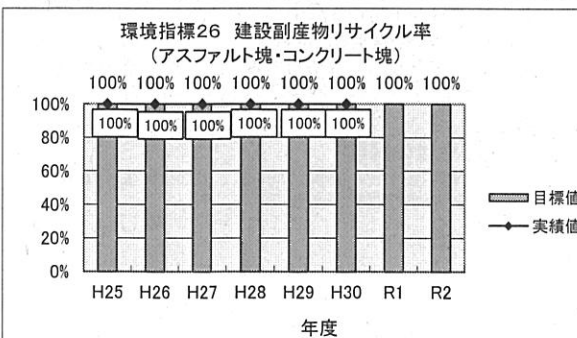
○主な取組実績(成果)

産業廃棄物の再生利用等を目的とした排出事業者等が行う施設整備に対し、支援を行った。

○今後の課題

目標の達成に向けて、引き続き、再生利用等を推進する取組が必要である。

環境指標26		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
建設副産物リサイクル率(アスファルト塊・コンクリート塊)	実績値	100%	100%	100%	100%	100%	100%			◎	→
	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		



○目標の達成状況について

平成30年度末の達成率 100.0%

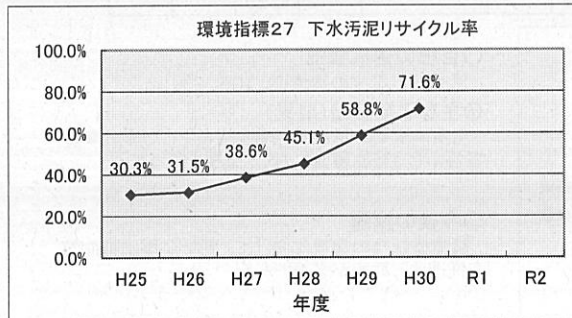
○主な取組実績

建設副産物のリサイクル率については、建設副産物実態調査を実施して把握している。アスファルト塊・コンクリート塊については、再資源化施設(中間処理施設)へ搬出することを原則としているため、リサイクル率の目標値を毎年達成出来ている。

○今後の課題

目標値は達成しており、引き続き、実績の維持に向け建設副産物の再資源化に取り組む必要がある。

環境指標27		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
下水汚泥リサイクル率	実績値	30.3%	31.5%	38.6%	45.1%	58.8%	71.6%			—	↗



○目標の達成状況

モニタリング指標のため、目標設定なし

○主な取組実績(成果)

下水汚泥に放射性物質が含まれ、リサイクルが困難であったが、放射能濃度の低下と共に受け入れ先が確保され、リサイクル率が上昇している。

○今後の課題

下水汚泥に含まれる放射能濃度がリサイクル可能なレベルまで低下しない処理場があるため、引き続き測定し、適正な処分を行う必要がある。

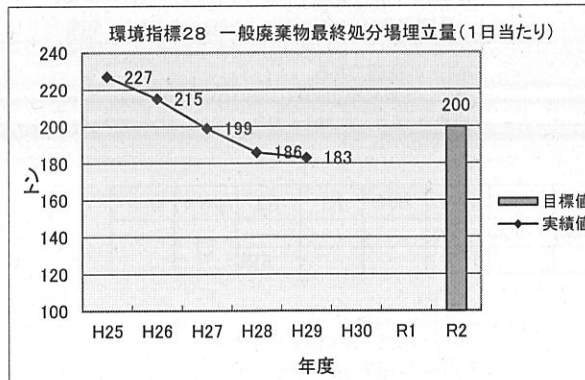
(3) 廃棄物の適正な処理

施策の展開方向

- 県民への正しい知識の普及啓発
- 業者への監視・指導の強化
- 不法投棄防止対策の強化
- 不適正処理事案対策の早期処理
- 災害により発生した廃棄物の適正処理

環境指標

環境指標28		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
一般廃棄物最終処分場埋立量(1日当たり)	実績値	227	215	199	186	183				◎	↘
	目標値								200		



○目標の達成状況

平成29年度末の達成率 109.3%

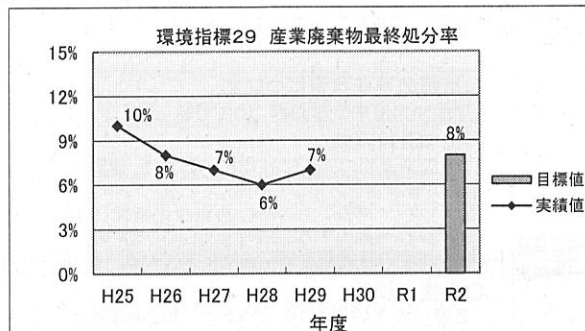
○主な取組実績(成果)

- ・3Rや食品ロス削減に関する家庭向けの取組として、一般家庭や小学生を対象としてリーフレットを配布し実践してもらうことにより、取組を促進した。
- ・平成25年に施行された小型家電リサイクル法において、取組事例の紹介や個別相談会の開催等を行うことにより、市町村による回収を促進した。
- ・令和元年度等3年ごとに「福島県分別収集促進計画」を作成し、分別収集及びリサイクルの推進を図った。

○今後の課題

平成27年度以降目標を達成しているところであるが、最終処分場の残余容量がひっ迫していることから、引き続き、最終処分埋立量の更なる削減に向けた取組が必要である。

環境指標29		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
産業廃棄物最終処分率	実績値	10%	8%	7%	6%	7%				◎	↘
	目標値								8%		



○目標の達成状況

平成29年末の達成率 114.3%

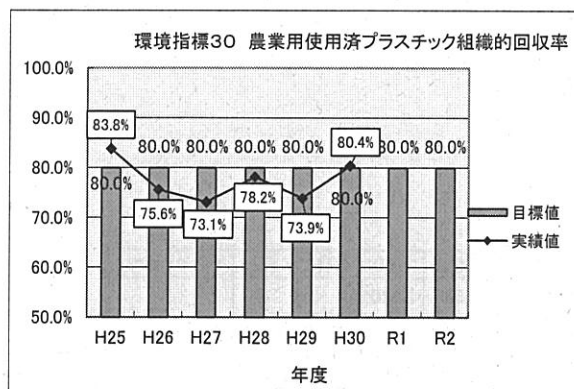
○主な取組実績(成果)

産業廃棄物の再生利用等を目的とした排出事業者等が行う施設整備に対し、支援を行った。

○今後の課題

循環型社会の実現に向けて、更なる再生利用等を推進する取組が必要である。

環境指標30		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
農業用使用済プラスチック組織的回収率	実績値	83.8%	75.6%	73.1%	78.2%	73.9%	80.4%			◎	↗
	目標値	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 100.5%

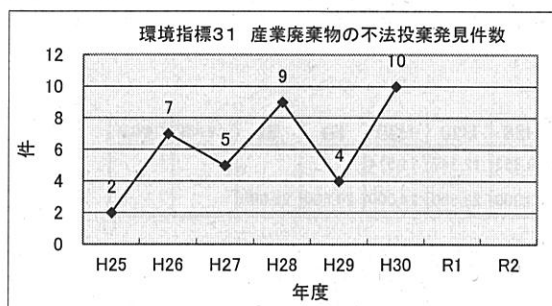
○主な取組実績(成果)

- ・地域協議会と連携し、各現地指導会等における回収への働きかけを実施した。
- ・各地域協議会における状況調査、値上げ状況調査を実施した。
- ・生分解性資材の利用を推進した。

○今後の課題

- ・平成29年度以降、中国を含む海外の廃プラ輸入禁止に伴う処理費用の高騰が懸念されており、一部の地域協議会では運搬費や処分費用の値上げを検討している。
- ・廃プラ処理については、国際的な課題とされていることから、生分解性資材等の利用を推進するなど、利用量の削減等にも対応する必要がある。

環境指標31		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
産業廃棄物の不法投棄発見件数及び投棄量	発見件数	2	7	5	9	4	10			—	↘
	投棄量	173	473	746	2,085	688	470				



○目標の達成状況について

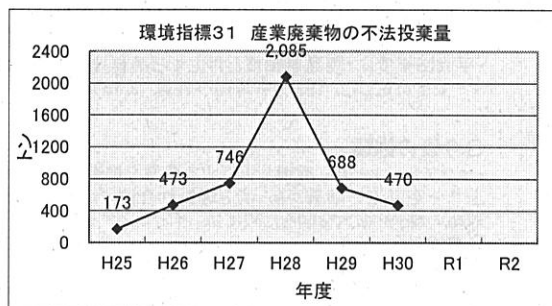
モニタリング指標のため、目標設定なし

○主な取組実績(成果)

主要な路上でのパンフレット配付、不法投棄監視員や夜間等の警備会社によるパトロール等を行った。

○今後の課題

不法投棄の発生が後を絶たないことから、継続した取組が必要である。



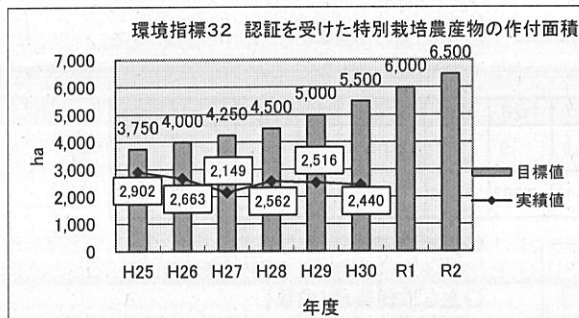
(4) 環境と調和した事業活動の展開

施策の展開方向

- 環境にやさしい事業活動の促進
- 環境負荷低減に資する取組の創出・育成
- 環境と共生する農林水産業の促進
- 中小企業への支援
- 環境保全のための施設整備支援

環境指標

環境指標32		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
認証を受けた特別栽培農産物の作付面積	実績値	2,902	2,663	2,149	2,562	2,516	2,440			×	↗
	目標値	3,750	4,000	4,250	4,500	5,000	5,500	6,000	6,500		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 37.5%

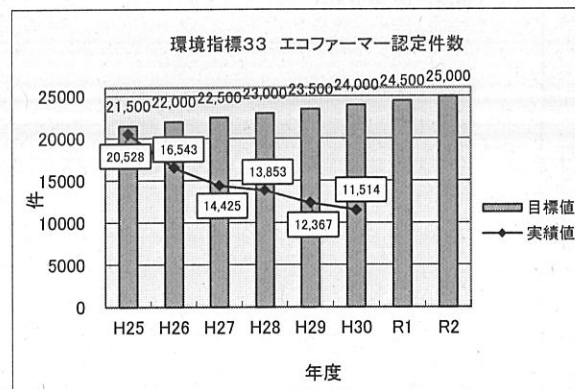
○主な取組実績(成果)

平成27年度より環境保全に効果の高い営農活動に対する支援(環境保全型農業直接支払交付金)を行った。(延べ交付額565,930千円)

○今後の課題

特別栽培の取組維持・拡大を図るため、各JA稲作部会などの生産組織による取組の維持・拡大や新規実践者の掘り起こしが必要である。

環境指標33		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
エコファーマー認定件数	実績値	20,528	16,543	14,425	13,853	12,367	11,514			×	↗
	目標値	21,500	22,000	22,500	23,000	23,500	24,000	24,500	25,000		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 46.1%

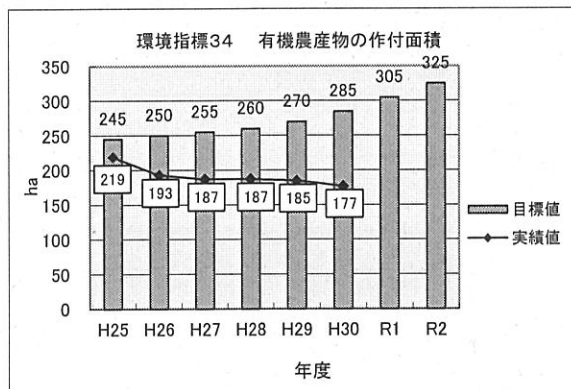
○主な取組実績(成果)

・平成27年から6月と10月を「エコファーマー重点推進月間」に位置付け、新規誘導等を実施した。
・平成25年度に「福島県環境と共生する農業」推進マークを策定した。(使用申請延べ件数 236件)

○今後の課題

・エコファーマーは、環境と共生する農業を推進する上で一定以上の効果があったと思われるが、今後の取組の維持・拡大を図るためには、インセンティブが必要である。
・避難指示解除後の更新申請は1年以内であり、対象者への周知確認が必要である。

環境指標34		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
有機農産物の作付面積	実績値	219	193	187	187	185	177			×	↗
	目標値	245	250	255	260	270	285	305	325		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 54.5%

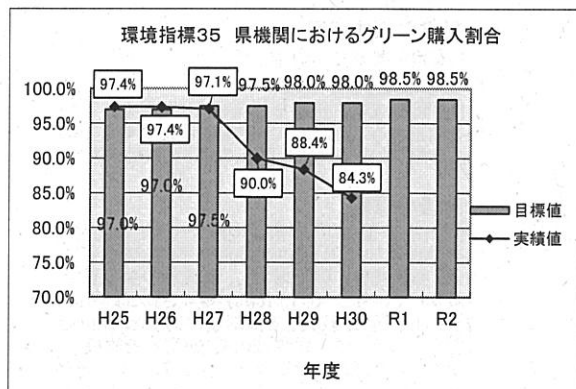
○主な取組実績(成果)

・有機JAS認証取得支援を行った。
(平成29年度から 延べ31件 補助金交付548千円)
・機械・施設等の整備を行った。
(平成29年度から 延べ8件 補助金交付12,759千円)

○今後の課題

・原発事故の影響が著しい有機農産物については、引き続き風評払拭を図る取組が必要である。
・風評に屈しない確固たる「ブランド力」が必要である。

環境指標35		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
県機関におけるグリーン購入割合	実績値	97.4%	97.4%	97.1%	90.0%	88.4%	84.3%			○	↗
	目標値	97.0%	97.0%	97.5%	97.5%	98.0%	98.0%	98.5%	98.5%		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 85.6%

○主な取組実績(成果)

県機関において、文具類、オフィス家具等従来から購入している物品等については継続して目標値を達成しているが、特殊な物品の購入も生じたことから購入割合が減少している。

○今後の課題

グリーン購入対象商品がない特殊物品の購入が生じるなど、近年グリーン購入の調達割合が減少傾向にあることから、今後更なる制度の周知に努め、適合商品の適切な購入を促進する必要がある。

3 自然共生社会の形成

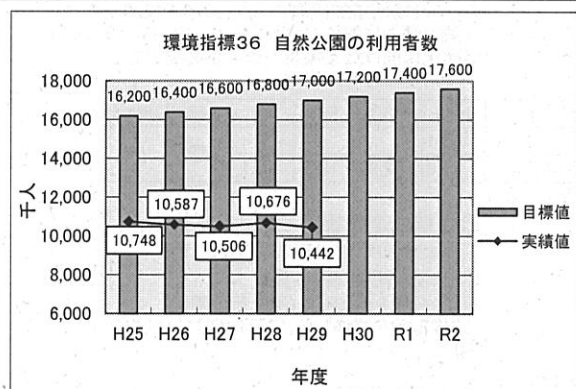
(1)自然環境の保全と自然とのふれあい

施策の展開方向

- 自然公園等での自然環境の保全推進
- 自然環境の保全に関する普及啓発の推進
- 身近な自然環境の保全の推進
- 森林や農地等のもつ多面的な機能の確保
- 自然とのふれあいの場の整備促進
- 各種情報の提供等の促進

環境指標

環境指標36		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
自然公園の利用者数	実績値	10,748	10,587	10,506	10,676	10,442				×	↗
	目標値	16,200	16,400	16,600	16,800	17,000	17,200	17,400	17,600		



○目標の達成状況

平成29年度末の達成率 59.3%

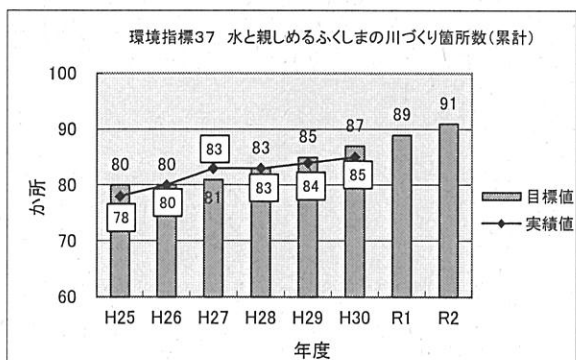
○主な取組実績(成果)

老朽化した既設木道及び標識等の更新や標識等の多言語化などの施設整備を行った。

○今後の課題

震災後、風評被害などにより、県内の自然公園利用者は、震災前の7割程度となっており、今後、福島県と環境省が共同で策定した、「ふくしまグリーン復興構想」に基づき、自然資源や地域資源の活用による自然公園のさらなる魅力向上と創出に向け、事業を展開する必要がある。

環境指標37		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
水と親しめるふくしまの川づくり箇所数(累計)	実績値	78	80	83	83	84	85			○	↗
	目標値	80	80	81	83	85	87	89	91		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 93.4%

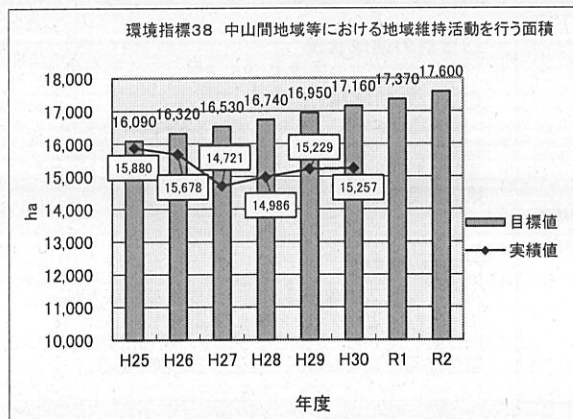
○主な取組実績(成果)

平成27年度より、環境や生態系に配慮し、魚が遡上するための魚道を計6箇所設置した。

○今後の課題

・魚道や親水施設の整備において、画一的な整備内容ではなく、個々の河川の特徴に合った設計を地元住民や専門家の意見を取り入れながら進める必要がある。
・近年、多発するゲリラ豪雨等によって、河川水難事故が広く周知されたことから「川離れ」が顕著になっている。離れてしまった利用者呼び戻すためにも、各種団体等と連携し、川遊びや大雨時の正しい知識について啓発を推進する必要がある。

環境指標38		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
中山間地域等における地域維持活動を行う面積	実績値	15,880	15,678	14,721	14,986	15,229	15,257			○	↗
	目標値	16,090	16,320	16,530	16,740	16,950	17,160	17,370	17,600		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 86.7%

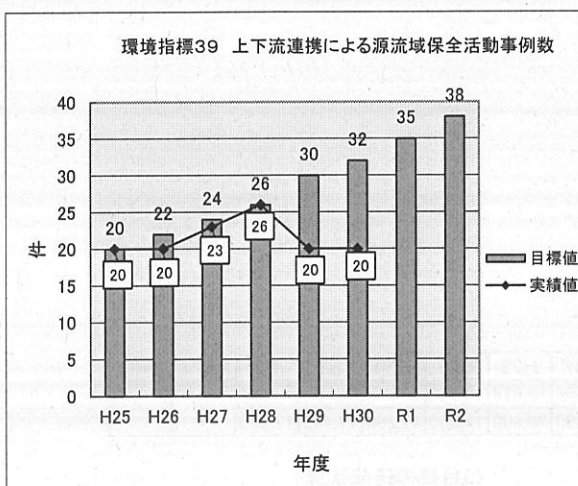
○主な取組実績(成果)

中山間地域等直接支払事業により生産条件不利性を補正することによって、農業生産活動等が継続され、耕作放棄地の発生防止や解消がなされた。

○今後の課題

過疎・高齢化に伴う農業者の減少や、中山間地域は平地地域と比較して生産条件が不利である事に加え、鳥獣被害が年々増大し、農業者の生産意欲が減退していることから、取組が継続されるよう引き続き中山間地域等直接支払制度の周知と取組の支援を行いつつ、中山間地域の農業・農村を維持・強化するための新たな仕組み作りを支援していく必要がある。

環境指標39		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
上下流連携による源流域保全活動事例数	実績値	20	20	23	26	20	20			×	↗
	目標値	20	22	24	26	30	32	35	38		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 52.6%

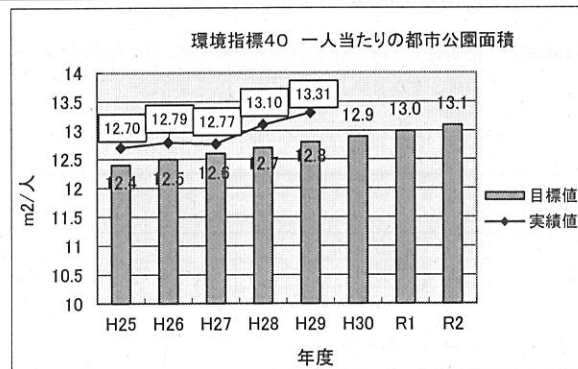
○主な取組実績(成果)

本県の豊かな水環境を保全し、健全な水環境を将来に引き継いでいくため、「うつくしま「水との共生」プラン」などに基づき、県内の各流域において、上下流の地域住民が連携した河川清掃活動や水質調査のほか、上下流の交流を促進することを目的に、河口から源流までを体験するツアーや、県内水環境活動団体の交流会などが実施された。

○今後の課題

震災前に行われていた県民参加による活動の一部では、放射性物質への不安等から活動再開に至っておらず、また、震災直後に活発に行われていた震災復興を目的とした水関連イベント等も縮小傾向にある。こうした原因等により、上下流連携による活動事例数は、震災によりいったん減少したものの、その後は増加傾向にあったが、平成29年度には減少傾向に転じ、目標を下回っているため、活動活発化に向けた支援策の検討が必要である。

環境指標40		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
一人当たりの都市公園面積	実績値	12.70	12.79	12.77	13.10	13.31				◎	↗
	目標値	12.4	12.5	12.6	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1		



○目標の達成状況

平成29年度末の達成率 101.6%

○主な取組実績(成果)

- ・防災公園を整備した(東ヶ丘公園)
- ・防災緑地を整備した(埴浜地区防災緑地外9緑地)

○今後の課題

- ・都市内の緑を保全・創出するため、継続的な公園整備の促進が必要である。
- ・整備した公園等における施設の維持管理や自然環境の保全が必要である。

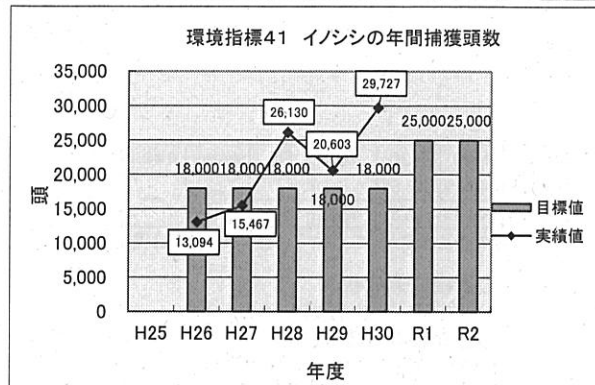
(2)有害鳥獣対策

施策の展開方向

- 有害鳥獣対策の強化

環境指標

環境指標41		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
イノシシの年間捕獲頭数	実績値		13,094	15,467	26,130	20,603	29,727			◎	↗
	目標値		18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	25,000	25,000		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 118.9%

○主な取組実績(成果)

- ・県直営で捕獲事業を委託した。
- ・狩猟に関心を抱いている人を対象に狩猟について紹介するセミナーを年3回開催した。
- ・狩猟免許取得者を対象とした狩猟技術講習会を年4回開催した。

○今後の課題

捕獲者や銃猟登録者の高齢化が進んでいるため、新たな捕獲者の確保、及び捕獲効率向上のための基本的捕獲技術の普及と新たな捕獲技術の導入が必要である。

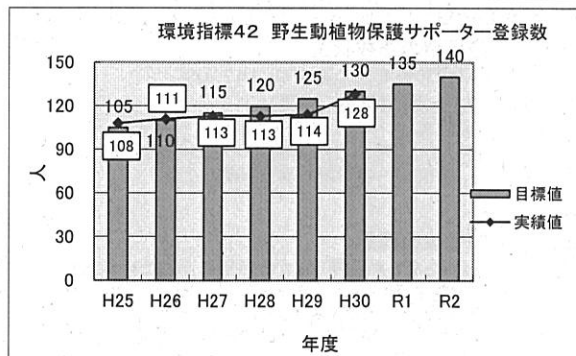
(3)生物多様性の保全と恵みの持続可能な利用

施策の展開方向

- 野生動植物の保護・救護の取組の推進
- 外来種からの生態系や県民生活への被害防止
- 生物多様性の恵みの持続可能な利用

環境指標

環境指標42		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
野生動植物保護サポーター登録数	実績値	108	111	113	113	114	128			○	↗
	目標値	105	110	115	120	125	130	135	140		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 91.4%

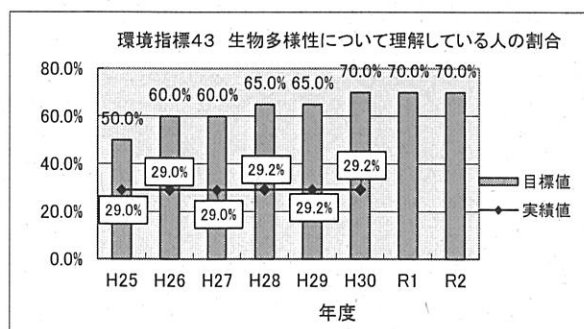
○主な取組実績(成果)

- ・毎年1回スキルアップのための研修会を実施するとともに、R元年度については実地研修を行った。
- ・アドバイザー等への情報提供やレッドリスト作成の資料として活用するため、サポーターから提供されるデータを蓄積した。

○今後に向けた課題

サポーターの登録数は順調に推移しているが、サポーターから得た情報の有効活用とサポーターの意欲向上のための取組を行っていく必要がある。

環境指標43		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
生物多様性について理解している人の割合	実績値	29.0%	29.0%	29.0%	29.2%	29.2%	29.2%			×	↗
	目標値	50.0%	60.0%	60.0%	65.0%	65.0%	70.0%	70.0%	70.0%		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 41.7%

○主な取組実績(成果)

- ・各市町村へ生物多様性に関するチラシを配布した。
- ・平成29年度に県民を対象に生物多様性はじめて講座を実施した。

○今後の課題

福島県の豊かな自然を次世代に残していくため、生物多様性を県民に広く周知するための更なる普及啓発が必要である。

(4)地震・津波により影響を受けた自然環境及び生物多様性の回復に向けた適切な保全

施策の展開方向

- 地震・津波により影響を受けた自然環境の回復に向けた適切な保全
- 地震・津波により影響を受けた生物多様性の回復に向けた適切な保全

(5)尾瀬地区及び裏磐梯地区の自然環境保全

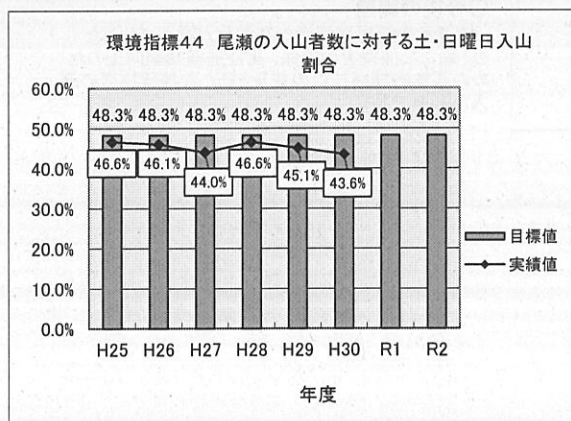
施策の展開方向

- 尾瀬地区の自然環境保全の促進
- 裏磐梯地区の自然環境保全の促進

環境指標

環境指標44		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
尾瀬の入山者数に対する土・日曜日入山割合	実績値	46.6%	46.1%	44.0%	46.6%	45.1%	43.6%			◎	→
	目標値	48.3%	48.3%	48.3%	48.3%	48.3%	48.3%	48.3%	48.3%		

※尾瀬国立公園になった平成19年度から23年度までの土日利用割合の平均値48.3%を基準値として、毎年これを下回る値を目標値とする。



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 110.8%

○主な取組実績(成果)

・スタートアップふくしま尾瀬事業として、平成30年度にモニターツアー、SNSキャンペーン、有名旅行雑誌等を活用した情報発信を実施した。令和元年度はSNSキャンペーン、尾瀬の動画配信などWebを活用した情報発信や、多言語マップの作成等を実施した。

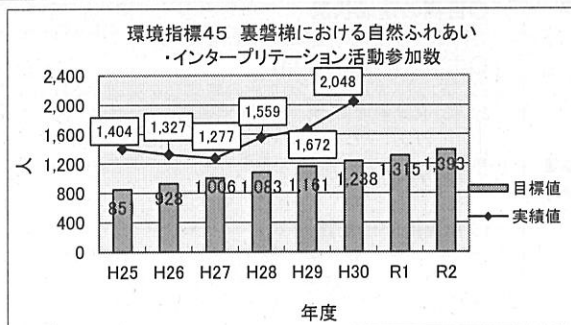
・老朽化した木道等の更新工事を実施した。

○今後の課題

毎年度、目標値は達成している。

なお、尾瀬への入山者数が減少しているため、アクトビティの開発やきめ細やかな情報発信の取組のほか、利用者の安全確保のための老朽化した施設の計画的な整備等を通して、交流人口の拡大や地域の活性化を図る必要がある。

環境指標45		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
裏磐梯における自然ふれあい・インタプリテーション活動参加数	実績値	1,404	1,327	1,277	1,559	1,672	2,048			◎	↗
	目標値	851	928	1,006	1,083	1,161	1,238	1,315	1,393		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 147.0%

○主な取組実績(成果)

裏磐梯ビジターセンターにおいて、来館者へのガイドウォーク等の自然体験プログラムを実施したほか、学校等への環境教育を実施した。

○今後の課題

子どもたちが体験しながら自然にふれあい環境保全の大切さを学び、かけがえのない自然を次の世代に伝えていくため、裏磐梯ビジターセンターにおける利用、体験型メニューや機能等の検討が必要である。

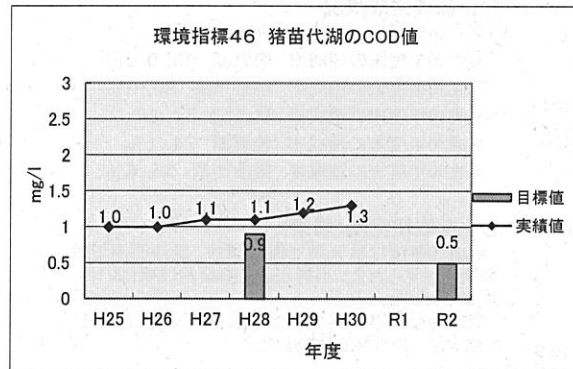
(6)猪苗代湖等の水環境保全

施策の展開方向

- 水環境悪化の防止
- 関係機関との連携の推進

環境指標

環境指標46		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
猪苗代湖のCOD値	実績値	1.0	1.0	1.1	1.1	1.2	1.3				
	目標値				0.9				0.5	×	↘



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 38.5%

○主な取組実績(成果)

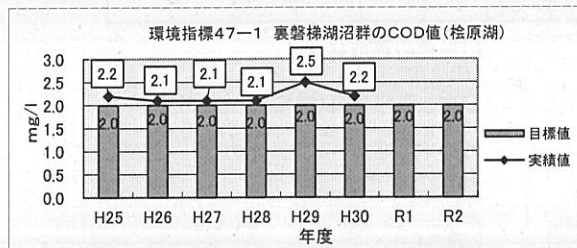
- ・「猪苗代湖及び裏磐梯湖沼水環境保全推進計画」に基づき、窒素・りん除去型浄化槽への転換などの生活排水対策、水生植物の刈取りなどによる水質改善対策などの取組を行った。また、様々な団体が一体となって湖岸清掃等の水環境保全活動を重点的に展開した。
- ・環境創造センターと連携し、水質変動メカニズムの解明に向けた研究等を実施した。
- ・猪苗代湖の水質は、大腸菌群数を除きすべての項目で環境基準を達成した。

○今後の課題

猪苗代湖においては、CODの上昇など水質変動が懸念されているため、「福島県猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の水環境の保全に関する条例」等に基づきより一層の水環境保全対策を集中的に推進していく必要がある。

環境指標47		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
裏磐梯湖沼群のCOD値達成率平均値		73.9%	75.6%	79.6%	74.8%	73.0%	70.9%			△	↗
裏磐梯湖沼群のCOD値(桧原湖)	実績値	2.2	2.1	2.1	2.1	2.5	2.2			○	↘
裏磐梯湖沼群のCOD値(小野川湖)	実績値	2.5	2.3	2.2	2.4	2.5	2.5			○	↘
裏磐梯湖沼群のCOD値(秋元湖)	実績値	2.9	3.0	2.7	4.4	3.1	3.7			×	↘
裏磐梯湖沼群のCOD値(曾原湖)	実績値	2.7	3.0	2.8	3.0	2.9	2.7			△	↘
裏磐梯湖沼群のCOD値(毘沙門沼)	実績値	1.8	1.6	1.5	1.2	1.4	1.8			×	↘
目標値(毘沙門沼以外)		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
目標値(毘沙門沼)		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		

※裏磐梯湖沼群のCOD値達成率平均値については環境指標47全体の達成状況を評価するため記載している。



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 平均 70.9%
 平成30年度末の達成率 桧原湖 90.9%
 平成30年度末の達成率 小野川湖 80.0%
 平成30年度末の達成率 秋元湖 54.1%
 平成30年度末の達成率 曾原湖 74.1%
 平成30年度末の達成率 毘沙門沼 55.6%

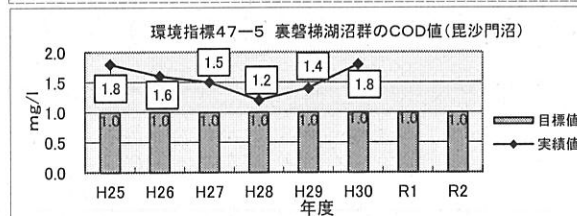
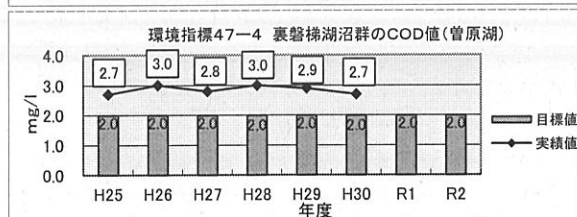
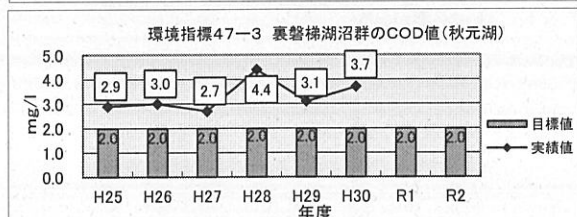
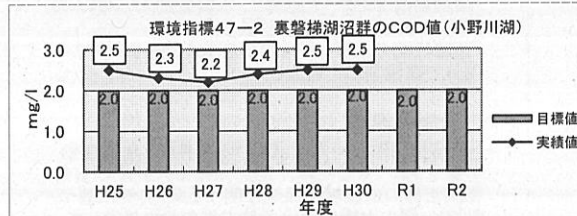
○主な取組実績(成果)

平成30年度は秋元湖で増加傾向、毘沙門沼で微増傾向が見られた。小野川湖他3湖沼は横ばいの傾向であった。

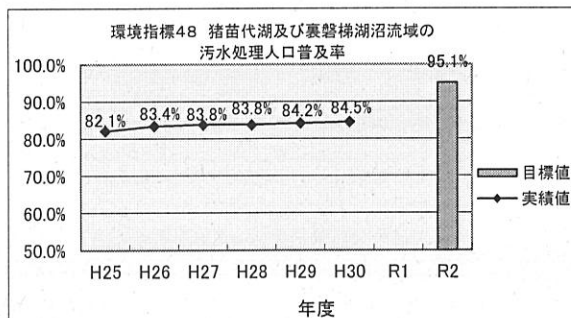
定期的な周辺事業場への立入検査の他、ワカサギ釣り客への啓発を実施した。

○今後の課題

秋元湖は近年環境基準を超過しているが、汚濁原因は、周辺に人為的水質汚濁発生源がないため、植物など有機物による自然由来と考えられる。引き続き人為的汚染源の有無を注視しつつ水質監視を行う。



環境指標48		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
猪苗代湖及び裏磐梯湖沼流域の	実績値	82.1%	83.4%	83.8%	83.8%	84.2%	84.5%			○	↗
污水处理人口普及率	目標値								95.1%		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 88.9%

○主な取組実績(成果)

猪苗代湖流域における生活排水対策として、窒素・りん除去型浄化槽の普及促進を図るとともに、同浄化槽の性能を十分に発揮させるため、維持管理に関する講習会を開催した。

○今後の課題

湖沼の水質改善を図るために、窒素やりんなどを除去する必要がある流域においては、窒素・りん除去型浄化槽や下水道終末処理施設等の整備や適切な維持管理の促進を図る必要がある。

4 良好な生活環境の確保

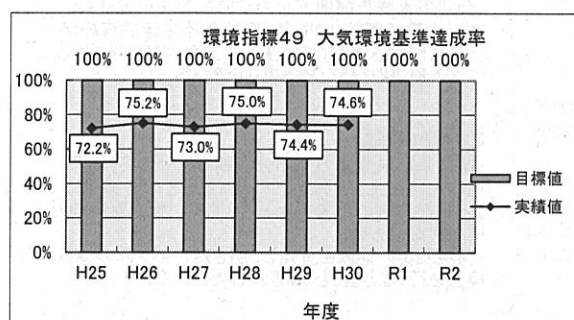
(1) 大気、水、土壌等の環境保全対策

施策の展開方向

- 大気環境保全対策の推進
- 水環境保全対策の推進
- 土壌汚染対策の推進
- 騒音、振動、悪臭の被害防止
- オゾン層保護の推進

環境指標

環境指標49		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
大気環境基準達成率	実績値	72.2%	75.2%	73.0%	75.0%	74.4%	74.6%			△	↗
	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		



○ 目標の達成状況

平成30年度末の達成率 74.6%

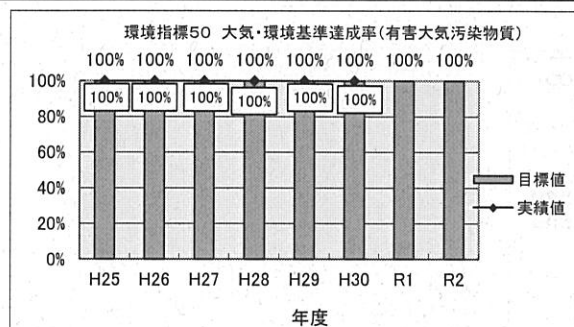
○ 主な取組実績(成果)

大気中の光化学オキシダント等を常時監視し、高濃度時には光化学スモッグ予報等を発令し、光化学オキシダントによる被害の未然防止を図った。

○ 今後の課題

光化学オキシダントは広域的な汚染物質であり、全国的にも環境基準の達成状況が低い状況にあることから、引き続き高濃度発生時の迅速な発令等に努める必要がある。

環境指標50		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
大気・環境基準達成率(有害大気汚染物質)	実績値	100%	100%	100%	100%	100%	100%			◎	→
	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		



○ 目標の達成状況

平成30年度末の達成率 100%

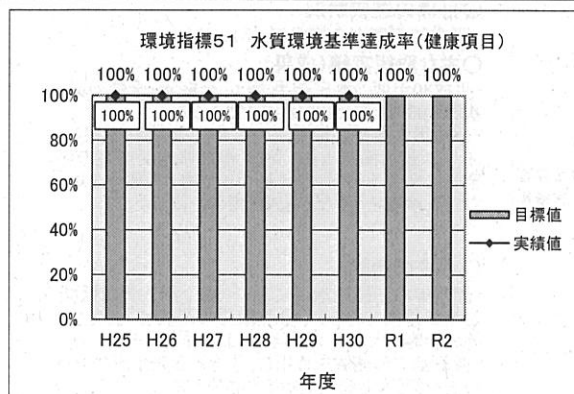
○ 主な取組実績(成果)

・有害大気汚染物質の対象となる21物質について、計画的に県内のモニタリング調査を実施し、実態を把握した。
・平成30年度は、調査を行った県内102地点すべてで環境基準を達成した。

○ 今後の課題

目標値は達成しており、引き続き実績の維持に向け、排出元となる事業者の指導に取り組む必要がある。

環境指標51		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
水質環境基準達成率(健康項目)	実績値	100%	100%	100%	100%	100%	100%			◎	→
	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		



○ 目標の達成状況

平成30年度末の達成率 100%

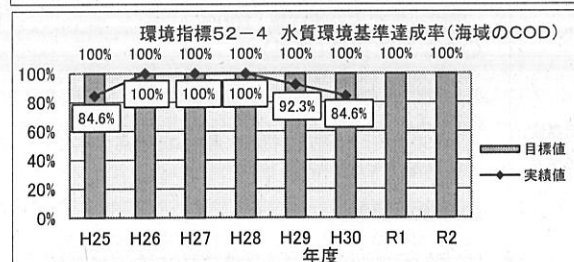
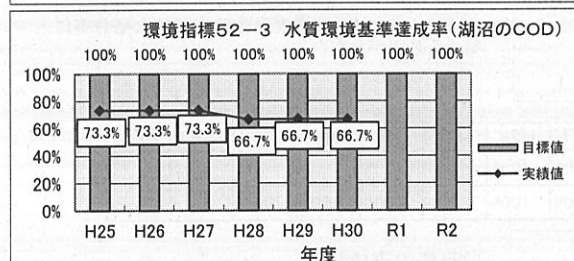
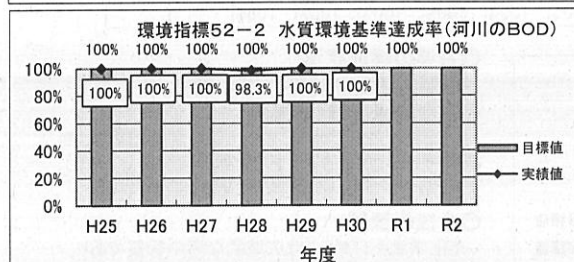
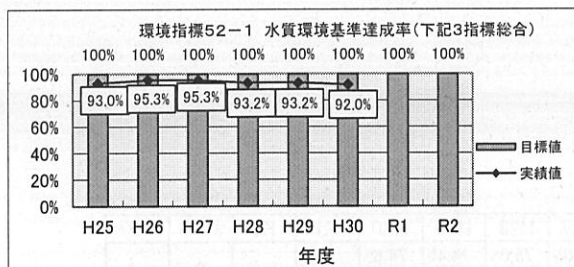
○ 主な取組実績(成果)

・平成30年度は、県内計196地点で公共用水域の測定を実施し、調査を行った80地点すべてで環境基準を達成した。
・水質測定計画に基づき、公共用水域及び地下水の常時監視を行うとともに、「水質汚濁防止法」及び「福島県生活環境の保全等に関する条例」等に基づき工場・事業場に対して立入検査を行うなど監視・指導を行った。

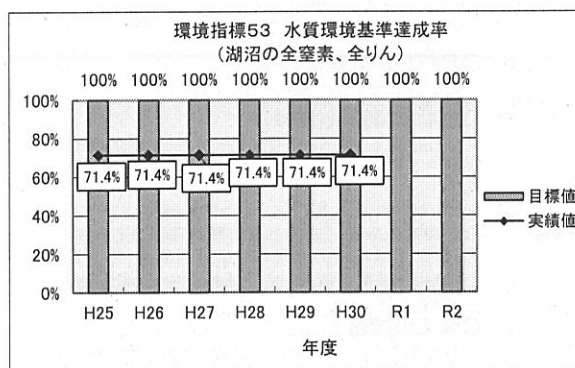
○ 今後の課題

目標値は達成しており、引き続き実績の維持に向け、発生源の立入検査を行うなど監視・指導の必要がある。

環境指標52		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
水質環境基準達成率(下記3指標総合)	実績値	93.0%	95.3%	95.3%	93.2%	93.2%	92.0%			○	↗
水質環境基準達成率(河川のBOD)	実績値	100%	100%	100%	98.3%	100%	100%			◎	↗
水質環境基準達成率(湖沼のCOD)	実績値	73.3%	73.3%	73.3%	66.7%	66.7%	66.7%			△	↗
水質環境基準達成率(海域のCOD)	実績値	84.6%	100%	100%	100%	92.3%	84.6%			○	↗
目標値		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		



環境指標53		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
水質環境基準達成率(湖沼の全窒素、全りん)	実績値	71.4%	71.4%	71.4%	71.4%	71.4%	71.4%			△	↗
	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 3指標総合 92.0%
 平成30年度末の達成率 河川のBOD 100%
 平成30年度末の達成率 湖沼のCOD 66.7%
 平成30年度末の達成率 海域のCOD 84.6%

○主な取組実績(成果)

・平成30年度の測定結果では、水質汚濁の代表的指標であるBOD(河川)又はCOD(湖沼及び海域)の環境基準達成率は、河川100%、湖沼66.7%、海域84.6%だった。
 ・公共用水域及び地下水の常時監視を行うとともに、「水質汚濁防止法」及び「福島県生活環境の保全等に関する条例」等に基づき工場・事業場に対して立入検査を行うなど監視・指導を行った。

○今後の課題

・環境基準未達成の大部分の湖沼については、周辺に人為発生源がないため、植物などの有機物による自然由来の汚濁原因と考えられ、水質改善は困難な状況である。
 ・環境基準の達成を目指し、引き続き発生源の立入検査を行うなど監視・指導の必要がある。

○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 71.4%

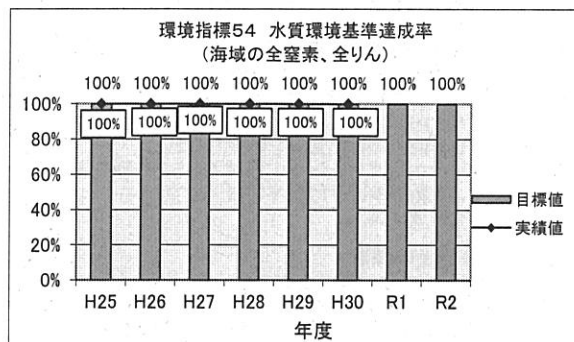
○主な取組実績(成果)

・平成30年度の測定結果では、全窒素・全燐の環境基準達成率は71.4% (湖沼)であった。
 ・公共用水域及び地下水の常時監視を行うとともに、「水質汚濁防止法」及び「福島県生活環境の保全等に関する条例」等に基づき工場・事業場に対して立入検査を行うなど監視・指導を行った。

○今後の課題

・湖沼等の閉鎖性水域においては、流入負荷低減対策が重要であるが、自然由来の汚濁や内部生産等の影響も大きく、水質改善は困難な状況である。
 ・環境基準の達成を目指し、引き続き発生源の立入検査を行うなど監視・指導の必要がある。

環境指標54		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
水質環境基準達成率(海域の全窒素、全りん)	実績値	100%	100%	100%	100%	100%	100%			◎	→
	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		



○目標の達成状況

平成30年度の達成率 100%

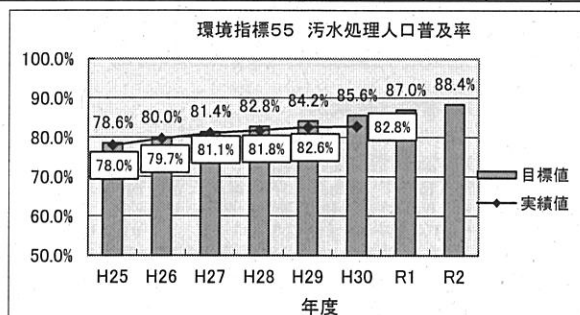
○主な取組実績(成果)

・平成30年度の測定結果では、全窒素・全リンの環境基準達成率は100%(海域)であった。
 ・公共用水域及び地下水の常時監視を行うとともに、「水質汚濁防止法」及び「福島県生活環境の保全等に関する条例」等に基づき工場・事業場に対して立入検査を行うなど監視・指導を行った。

○今後の課題

目標値は達成しており、引き続き、実績の維持に向け、発生源の立入検査を行うなど監視・指導の必要がある。

環境指標55		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
汚水処理人口普及率	実績値	78.0%	79.7%	81.1%	81.8%	82.6%	82.8%			○	↗
	目標値	78.6%	80.0%	81.4%	82.8%	84.2%	85.6%	87.0%	88.4%		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 93.7%

○主な取組実績(成果)

汚水処理人口普及率の向上を進めているが、平成30年度末で82.8%となっている。

○今後の課題

生活排水に起因する水質汚濁を未然に防止するため、汚水処理施設の整備を計画的に進める必要がある。

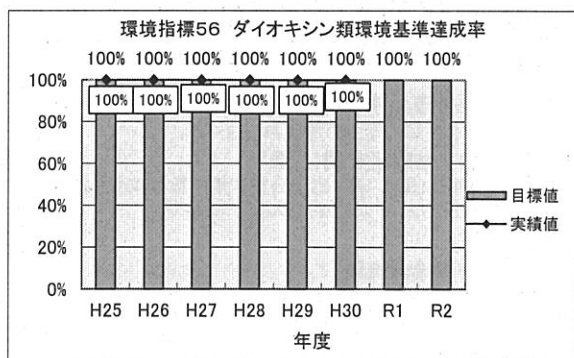
(2) 化学物質の適正管理等

施策の展開方向

- 化学物質による環境汚染の未然防止
- 化学物質リスクコミュニケーションの推進

環境指標

環境指標56		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
ダイオキシン類環境基準達成率	実績値	100%	100%	100%	100%	100%	100%			◎	→
	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		



○目標の達成状況

平成30年度の達成率 100%

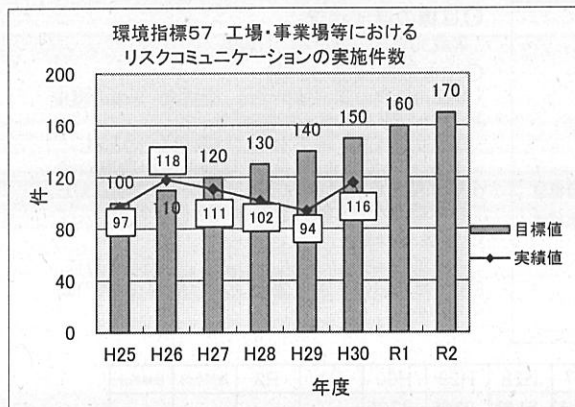
○主な取組実績(成果)

・大気・水・土壌等の環境に含まれるダイオキシン類のモニタリング調査を実施し、実態を把握した。
 ・ダイオキシン類の発生源となる廃棄物焼却炉などの立入検査を行い、排出基準の遵守を監視・指導した。

○今後の課題

平成25年度以降環境基準を達成しているが、発生源となる廃棄物焼却炉などで排出基準を超過する例もあり、引き続き発生源の立入検査や環境中のモニタリング調査を実施していく必要がある。

環境指標57		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
工場・事業場等におけるリスクコミュニケーションの実施件数	実績値	97	118	111	102	94	116			△	↗
	目標値	100	110	120	130	140	150	160	170		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 68.2%

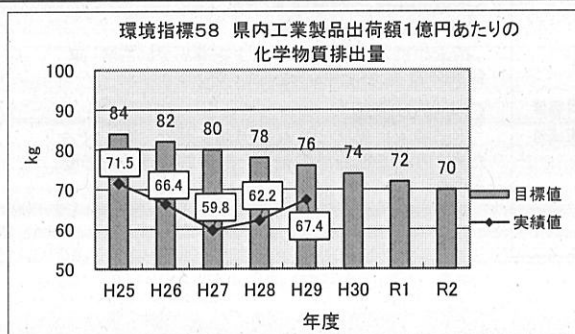
○主な取組実績(成果)

・PRTR法や「福島県化学物質適正管理指針」に基づき化学物質の排出量等を把握、公表した。
 ・リスクコミュニケーションに関するセミナー等を開催し、事業者自らが行う化学物質リスクコミュニケーションを支援した。

○今後の課題

・化学物質の流出事故が発生しており、適正な管理の推進が必要である。
 ・企業のリスクコミュニケーションへの理解促進が必要である。
 ・企業の化学物質排出削減に対する意識の高揚が必要である。

環境指標58		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
県内工業製品出荷額1億円あたりの化学物質排出量	実績値	71.5	66.4	59.8	62.2	67.4				◎	↘
	目標値	84	82	80	78	76	74	72	70		



○目標の達成状況

平成29年度末の達成率 103.9%

○主な取組実績(成果)

・PRTR法や「福島県化学物質適正管理指針」に基づき、化学物質の排出量等を把握、公表した。
 ・セミナー等へ化学物質アドバイザーなどの専門家を派遣し、事業者の化学物質排出削減の取組を支援した。

○今後の課題

化学物質排出による環境リスク低減のため、企業の排出量削減に対する意識の高揚が必要である。

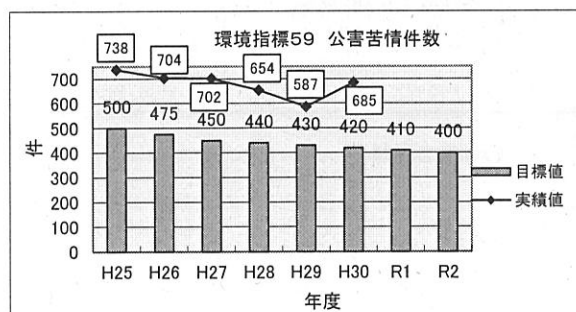
(3) 公害紛争等の対応

施策の展開方向

- 公害苦情等への適切な対応
- 公害紛争の迅速かつ適切な解決

環境指標

環境指標59		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
公害苦情件数	実績値	738	704	702	654	587	685			×	↘
	目標値	500	475	450	440	430	420	410	400		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 58.4%

○主な取組実績(成果)

平成25年以降、毎年公害苦情件数は減少を続けてきたが、平成30年度は増加に転じた。

○今後の課題

工場・事業場に係る公害苦情発生時の迅速な対応及び適切な解決に努める必要がある。

(4) 大規模な開発行為への対応

施策の展開方向

- 大規模な開発行為への事前指導
- 環境影響評価制度の運用等による環境保全

5 環境ネットワーク社会の構築と環境に配慮したゆとりある生活空間の形成

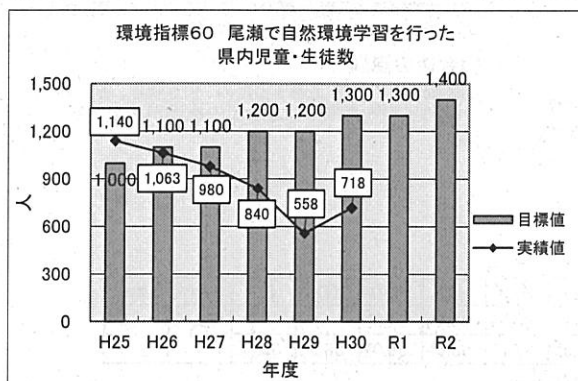
(1) 環境教育の推進、参加と連携・協働に基づく環境ネットワーク社会の構築

施策の展開方向

- 環境教育の充実と指導者の育成
- 県域を越えた取組の推進
- 参加と連携・協働による環境保全・回復活動の推進

環境指標

環境指標60		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
尾瀬で自然環境学習を行った県内児童・生徒数	実績値	1,140	1,063	980	840	558	718			×	↗
	目標値	1,000	1,100	1,100	1,200	1,200	1,300	1,300	1,400		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 51.3%

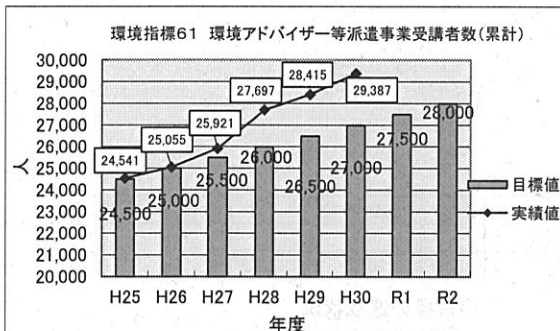
○主な取組実績(成果)

ふくしま子ども自然環境学習推進事業の認知度向上を目的として、各関係団体と連携したチラシ配布や学校訪問活動を行った。

○今後の課題

尾瀬における自然環境学習を推進するため、ふくしま子ども自然環境学習推進事業の認知度の向上と参加者数の確保に取り組む必要がある。

環境指標61		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
環境アドバイザー等派遣事業受講者数(累計)	実績値	24,541	25,055	25,921	27,697	28,415	29,387			◎	↗
	目標値	24,500	25,000	25,500	26,000	26,500	27,000	27,500	28,000		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 105.0%

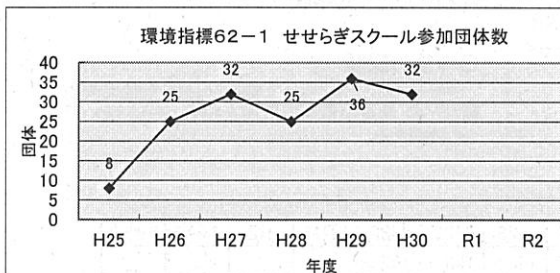
○主な取組実績(成果)

市町村、公民館、各種団体等が開催する講習会等に環境アドバイザーを派遣し、多様な場における環境教育・学習機会の充実を図った。(平成25年度～平成30年度 延べ5,108人受講)

○今後の課題

海洋プラスチックなど、多様な環境問題に関心が寄せられているため、それらへの対応が課題である。

環境指標62		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
せせらぎスクール参加団体数	実績値	8	25	32	25	36	32			—	↗
せせらぎスクール延べ参加者数	実績値	398	1,552	2,339	1,285	1,582	1,399			—	↗



○目標の達成状況

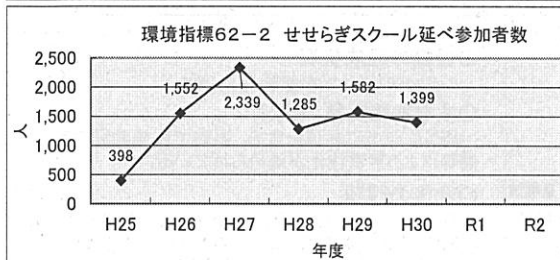
モニタリング指標のため、目標設定なし

○主な取組実績(成果)

水生生物調査「せせらぎスクール」の指導者養成講座を実施するとともに「せせらぎスクール」に参加する調査団体に教材の提供等の支援を行った。(平成25年～令和元年1月末現在 延べ193団体9,967人受講)

○今後の課題

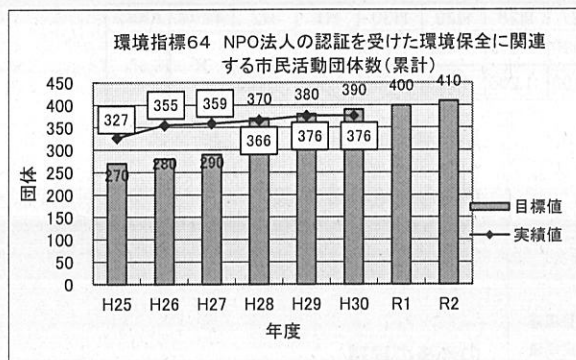
毎年度参加する団体が一定数いるものの参加数は伸び悩みの状況であるので、改めて原因を探りながら対応策を検討する必要がある。



環境指標63		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
「福島議定書」事業参加団体数(再掲)	事業所数	1,535	1,450	1,704	1,426	1,507	1,591			×	↗
	目標値	1,810	1,980	2,150	2,320	2,490	2,660	2,830	3,000		
	学校数	495	406	428	464	471	406				
	目標値	640	680	720	760	790	830	860	900		

※目標の達成状況等は環境指標10(5ページ)に掲載している。

環境指標64		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
NPO法人の認証を受けた環境保全に関連する市民活動団体数(累計)	実績値	327	355	359	366	376	376			○	↗
	目標値	270	280	290	370	380	390	400	410		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 91.7%

○主な取組実績(成果)

環境教育による普及啓発の取組を通して、環境保全活動促進のための意識醸成に取り組んだ。

○今後の課題

環境保全活動を促進するため、引き続き、各主体の参加と連携・協働による取組の推進が必要である。

環境指標65		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
県機関におけるグリーン購入割合(再掲)	実績値	97.4%	97.4%	97.1%	90.0%	88.4%	84.3%			○	↗
	目標値	97.0%	97.0%	97.5%	97.5%	98.0%	98.0%	98.5%	98.5%		

※目標の達成状況等は環境指標35(15ページ)に掲載している。

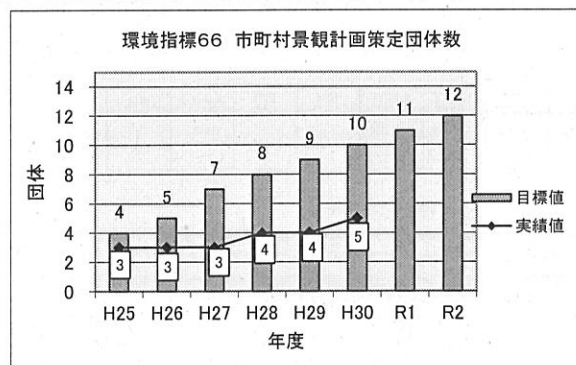
(2)環境に配慮したゆとりある生活空間の形成

施策の展開方向

- 自然景観や歴史的景観の保全、継承
- 景観形成活動の促進
- 環境美化活動の促進

環境指標

環境指標66		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
市町村景観計画策定団体数	実績値	3	3	3	4	4	5			×	↗
	目標値	4	5	7	8	9	10	11	12		



○目標の達成状況

平成30年度の達成率 41.7%

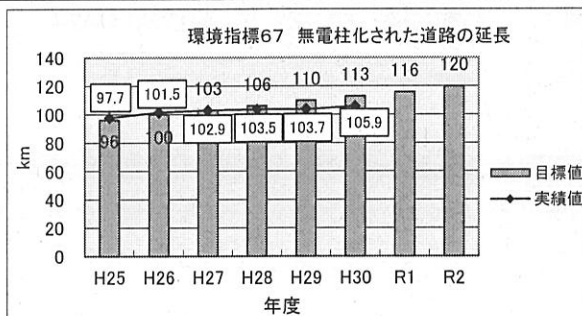
○主な取組実績(成果)

市町村の景観行政団体への移行と景観計画策定支援、県民や事業者等の景観形成活動を促進するため、景観セミナーを定期的に開催するとともに、景観アドバイザーを派遣した。

○今後の課題

市町村等と一体となって豊かな自然や歴史的景観などの貴重な県民の財産を将来へ引き継いでいく必要がある。

環境指標67		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
無電柱化された道路の延長	実績値	97.7	101.5	102.9	103.5	103.7	105.9			○	↗
	目標値	96	100	103	106	110	113	116	120		



○目標の達成状況

平成30年度末の達成率 88.3%

○主な取組実績(成果)

国道及び市町村道を含め、県内で電線共同溝整備等による無電柱化が進められている。

○今後の課題

県内の無電柱化の整備延長は着実に伸びている。また、近年の暴風による電柱倒壊被害等により、防災上の観点からも無電柱化の整備について一層の促進が求められている。

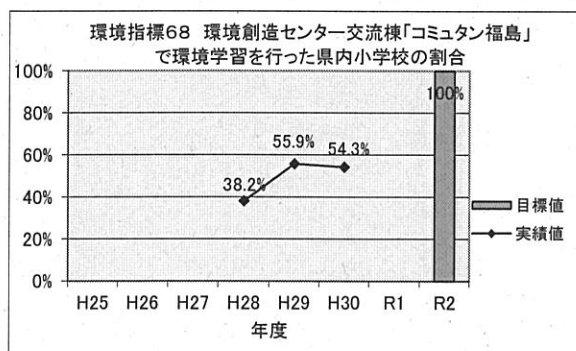
(3)情報の収集・提供と発信

施策の展開方向

- 情報の収集・提供機能の強化
- 分かりやすい情報の提供
- 国内外への情報の発信
- 環境創造センターの活用

環境指標

環境指標68		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	目標区分
環境創造センター交流棟「コミュタン福島」で環境学習を行った県内小学校の割合	実績値				38.2%	55.9%	54.3%			×	↗
	目標値								100%		



○目標の達成状況

平成30年度の達成率 54.3%

○主な取組実績(成果)

- ・小学校へのバス代補助を実施した。
- ・市町村教育委員会や小学校校長会等へ来館促進のための働きかけを行った。

○今後の課題

コミュタン福島の更なる活用を図るため、引き続き、教育関係機関への周知や学習プログラムの充実等に取り組んでいく必要がある。

